

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587067501	科目番号 / Course code	05870675
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16431_005		
授業科目名 / Course title	b1陶磁器からみた文化の多様性 / Diversity of the Culture from View Point of Ceramics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	野上 建紀 / Takenori Nogami, 河村 有教		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nogami-takenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	総合教育研究棟11階 野上研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2919		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 (メールにて要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。壊れやすく、再利用が難しいことから、廃棄されやすく、かつ土中や水中にあっても消失することなく残るからである。また、世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となることから最も重要な資料の一つでもある。陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができるのである。長崎県産をはじめとした日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解き、日本と世界の関わりを理解できるようになることが授業の目的である。		
授業到達目標 / Course goals	1. 世界に輸出された長崎県をはじめとした日本の陶磁器について説明することができるようになる。 2. 長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器が世界に与えた影響を説明することができるようになる。 3. 世界情勢で長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器の輸出が発展した過程を説明することができるようになる。 4. 日本 (特に長崎) と海外との関わりを示す考古資料を説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート・小課題の提出状況 50~70点 (合計点を50~70点満点で換算)、最終試験 (あるいは最終レポート) 30~50点の計100点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【予習】授業の最後に次回の内容について説明しますので、関連する資料を確認するようにしてください。(2h) 【復習】授業で配布された資料を整理し、授業の内容について理解を深めるようにしてください。(2h)		
キーワード / Keywords	陶磁器、文化交流、水中考古学		
教科書・教材・参考書 / Materials	『陶磁考古学入門』(2021年 勁草書房)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	授業内容に関連する長崎市内の施設・遺跡の見学を授業の予復習とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	質問や相談は気軽に研究室へ（事前にメールをください。）
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	野上 建紀 / 有田町歴史民俗資料館での勤務経験（25年間） / 埋蔵文化財を中心とした文化財保護行政と資料館の学芸業務の経験を生かして、考古学と社会の関わりについても説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1/2回	考古学入門
第3/4回	水中考古学入門
第5/6回	陶磁考古学
第7/8回	沈没船研究
第9/10回	海外輸出された伊万里（1）
第11/12回	海外輸出された伊万里（2）
第13/14回	青のテーマ、海のシルクロード
第15回	質疑応答、最終試験またはレポート

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587069501	科目番号 / Course code	05870695
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b1法と人権の多様性 / Legal Pluralism and Human Rights		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河村 有教		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	河村 有教		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	河村 有教		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kawamura_nagasaki-u.ac.jp (@)		
担当教員研究室 / Office	総合研究棟(多文化社会学研究科・多文化社会学部)11階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2953(研究室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前に連絡してアポイントを取ってください		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本授業は、理系の学生を対象として社会科学(刑事法学)の基礎知識を提供するものである。本授業においては、日本の刑事法(刑法、刑事訴訟法、少年法)や日本の刑事裁判例を切り口として、法と人権について学習する。諸外国における「法」の多様性、「人権」の多様性、法解釈の多様性についてや諸外国や国際社会からみた「法」や「人権」についての日本の特徴についてもあわせて学習する。法律の学習に関心のある理系の学生を対象とする法学への入門(入り口)として、基礎的なことから解説する。		
授業到達目標 / Course goals	既存の制度を批判的に論じ、よりよい制度となるように、未来社会を構想し得る力を涵養する。法学の多元的なアプローチ(分析手法)を学習した上で、それをを用いて、さらには、グローバルな視点とローカルな視点から、日本国内および国際社会で生じている様々な人権問題の解決に向けて提言する基礎的能力を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験を実施する(60%)。授業への出席及びコメントシートの提出(40%)。オンライン授業になった場合には、レポート等の課題を課し、レポートの提出を求めることもある。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業内で教科書等を読むことはしないため、教科書については、主に事前の予習、事後の復習の教材に役立ててください。授業のテーマに関わりそうな図書や雑誌、新聞記事等の資料を読み、「法と人権」の問題について考えること。(予習2時間・復習2時間)		
キーワード / Keywords	法, 人権, 人身の自由, 国際人権規約(自由権規約), 刑法, 刑事訴訟法, 少年法		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書等については、初回の授業で教科書・参考書等の説明を確認したうえで購入してください。試験で六法の持ち込みを可としています。不正行為防止の点から試験では、PCやi phone等を利用した六法検索は認められません。『デイリー六法』（三省堂）の購入をお薦めしています（『ポケット六法』（有斐閣）も可です）。法律改正や新しく立法される法律があるので、六法については最新版を購入のこと。 【教科書】河村有教ほか編『刑事法判例読解の視点』（晃洋書房、2021年）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp"
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	法学、法律学に関心のある学生さんを歓迎します。楽しく学習しましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	日本における「法」とは何か
第2回	不文法としての「判例」－「憲法上の権利」を生きたものにする
第3回	法の多様性 「国家法一元制」と「多元的法体制（リーガル・ブルーリズム）」
第4回	「人権」の多様性 香港の「個人の自由尊重」と中国の「国家の安全保障」との対立を例に
第5回	法解釈の多様性（1）罪刑法定主義と類推解釈の禁止
第6回	法解釈の多様性（2）ストーカー行為規制法における「見張り」
第7回	法解釈の多様性（3）強盗罪における「暴行・脅迫」
第8回	人権の保障（1）規制薬物の故意の認定
第9回	人権の保障（2）過失犯の成否
第10回	人権の保障（3）捜査機関による任意の活動の規制
第11回	人権の保障（4）長期間の身柄拘束・保釈の問題
第12回	人権の保障（5）有罪を認定するための「証拠」
第13回	人権の保障（6）少年法と刑事訴訟法
第14回	グローバルな視点から捉えた日本の人権問題について
第15回	「法」・「人権」・「法解釈」の日本の特徴について
第16回	期末試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587053301	科目番号 / Course code	05870533
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15421_005		
授業科目名 / Course title	b2音楽と社会 / Music and Community		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館516室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み (事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本講義では、共に奏でることとそれによって人々がつながりあうことの意義について体験を通して考えることを主とする。実技も含むが、音楽の得意・不得意は一切問わない。音楽に苦手意識のある方の受講を歓迎する。いわゆるクラシック音楽は、講義内容に含まれないため注意すること。</p> <p>音楽を演奏する行為は、その原初は、遊びであると同時に、コミュニティ形成のための一つの手段だったはずである。音楽がプロ化することで、一部の人が奏で、その他大勢は聴き手にまわる文化状況が生まれ、それによって音楽の技術力は飛躍的に伸長するが、その一方で、多くの人々が音楽に音楽に参与する機会が社会の中で減少した。</p> <p>近代化した社会では減少してしまった「誰かと共に気楽に音楽を奏でる」という行為は、個人のウェルネスやコミュニティ形成にとって重要であることは今も変わらない。この点について、民族音楽学者、トマス・トゥリノ氏の理論的な枠組みを使って体験的に考察を深めていく。また、ウェルネスの実現のために音楽が果たす役割について体験をもとに考えるために、音楽と関連させたヨガの体験を行う。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについてことばで語ったり書いたりすることができる。</p> <p>自らの体験や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。</p> <p>自らと音楽の関係、音楽を通した他者とのかわり、社会における音楽の役割について考えを述べるることができる。</p> <p>持続可能な開発について音楽を切り口として考えることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>レポート・提出物 70%</p> <p>出席・講義への参加度 30%</p> <p>授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	復習課題：講義内容の振り返り 2h 予習課題：課題文献の要約 2h
キーワード/Keywords	参与型音楽 ワークショップ ヨガ
教科書・教材・参考書/Materials	ヨガの体験の際に、床に敷くためのバスタオルが必要となるため持参すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	できるだけ欠席をせず講義に参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	木部崎 幸子/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を有している。/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を活かし、現代社会におけるアーティストという職業について、これまでの経験をもとに話をさせていただくことで、音楽と社会の関わりの一側面について明らかにする。また、もう一つは、グローバル化の中で、伝統音楽の今とこれからがどうなっていくのか、いくべきなのかについての授業を実施する。/ 西田 治/音楽ワークショップの開催経験を持つ。人と音楽のかかわりについて、ワークショップの実施経験を踏まえて講義を実施する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 音で遊ぶ
第2回	ヨガと音楽
第3回	グループでの即興演奏 1
第4回	ヨガのアート
第5回	グループでの即興演奏 2
第6回	体調を整えることと音楽
第7回	サウンドスケープ 1
第8回	マインドフルネス 1
第9回	サウンドスケープ 2
第10回	マインドフルネス 2
第11回	参与型音楽の概要
第12回	ミュージックメディスン
第13回	持続可能な音楽行為
第14回	音楽と呼吸
第15回	気づきを向けること

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587056501	科目番号 / Course code	05870565
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15501_005		
授業科目名 / Course title	b2芸術活動と社会 / Art Projects and Social Engagement		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	北村 史 / Kitamura Fumito, 西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	北村 史 / Kitamura Fumito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	北村 史 / Kitamura Fumito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kitamura@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス・研究開発推進機構棟2階・情報データ科学部PBL実習室奥		
担当教員TEL/Tel	095-800-4188		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日13:00 ~ 14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近年、国内各地で大規模な芸術祭が開催されるようになった。それら多くの芸術祭に共通する特徴として、地域の資源を活用した作品作りや、地域社会・住民を巻き込んだプロジェクト型の取り組みがあり、コミュニティ形成の活動にもなっている。本授業では、このような活動を事例として取り上げ、芸術を発端としたコミュニケーションとコミュニティ形成の過程について学んでいく。毎回の授業の後半には、年度ごとに決めたテーマに沿って、グループで作品制作活動に取り組む。		
授業到達目標/Course goals	a. 芸術文化の実践が社会にどのような影響し得るかを自分の言葉で説明できる b. ワークショップ活動の教授学習過程としての特徴を説明できる c. 与えられたテーマについて考え、作品にすることができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(調べ学習個別課題10点×2回)+(掲示板コメント課題10点×3回)+(作品制作25点)+(グループワークへの貢献10点)+(論述テスト15点)=100点満点のうち、60点以上を合格とする。配点については微調整をする場合もある。そのような場合は、その都度知らせる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業後に予習復習(4h)のための課題を知らせます。課題には以下のものが含まれます。 資料を閲覧視聴した後の掲示板ディスカッション グループでの準備活動		
キーワード/Keywords	美術、芸術、ソーシャリー・エンゲイジド・アート、ワークショップ、コミュニティ		
教科書・教材・参考書/Materials	購入指定する教科書はなし。参考とする書籍等については、授業内で紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	美術、芸術、現代アートに興味のある方に履修をおすすめします。また、授業では体験活動や制作活動に取り組みますので、積極的にそういった活動を楽しめる方でないと、不毛な時間となると思います。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	北村史/杉並区立杉並芸術開館「座・高円寺」などでワークショップコーディネータとしての実務経験を有している。/その実務経験を活かし、地域社会の芸術活動について体験を交えた授業を実施する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション グループ分け（アイスブレイク） 芸術経験に関する調査	A
第2回	お気に入りの作家・作品を見つける 制作活動（1）	B C
第3回	地域社会と文化事業 瀬戸内国際芸術祭の事例 地域社会にとってアートはどんな役割を果たすか アーティストを招く意味、アーティストの職能とは	A
第4回	お気に入りの作家・作品の紹介 制作活動（2）	B C
第5回	ソーシャリー・エンゲイジド・アートについて 体験を作品とするアート ワークショップという活動について	A
第6回	お気に入りの作家・作品の紹介 制作活動（3）	B C
第7回	レジジョ・エミリア・アプローチ 教授学習過程としてのワークショップ ワークショップの活動事例	A
第8回	制作活動（4）	B C
第9回	ワークショップ体験	B C
第10回	制作活動（5）	B C
第11回	制作活動（6）	B C
第12回	制作活動（7）	B C
第13回	作品発表	B
第14回	作品発表	B
第15回	発表会のふりかえり（ディスカッション） 本授業のまとめ（論述テスト）	B

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587040101	科目番号 / Course code	05870401
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12541_005		
授業科目名 / Course title	b3数と自然 / Number and Nature		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	熊崎 耕太 / Kumazaki Kota, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	熊崎 耕太 / Kumazaki Kota		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	熊崎 耕太 / Kumazaki Kota		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k.kumazaki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部3階313室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業の前半では、諸問題に触れながら集合や写像、濃度といった現代数学の基盤となる概念を学ぶ。そのもとで、授業の後半では、自然数、整数、実数に関する数の概念や性質や関数に関する性質について理解を深め、収束や連続といった概念を学ぶ。数に対する様々な性質に触れることで、数や数学に対するさらなる興味をもたれることを期待する。		
授業到達目標/Course goals	集合について理解し、さまざまな性質を証明できる。 写像と濃度に関する内容を理解し、数に関する性質を説明できる。 距離に関する概念を理解し、説明することができる。 収束・連続に関する概念を理解し、説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験60点 + 平常点40点 = 合計100点とし、60点以上を合格とする。 平常点は授業中の発表やレポートなど授業への寄与をもとに評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	レポート課題を課す。講義内では十分に理解できないこともあるため、理解するまでじっくり考えること(2h-4h)		
キーワード / Keywords	集合、写像、濃度、距離、収束、連続		
教科書・教材・参考書 / Materials	毎講義プリントを配布する。毎回の講義ノートをしっかりつくること。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業外学習に当てるべき時間: 週平均2時間以上		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	各自の講義ノートをよく復習すること。 授業・課題の問題を各自で解き、授業内容の理解を深めること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の概要説明、集合の概念
第2回	集合の演算
第3回	写像、全射と単射
第4回	像と逆像
第5回	集合の濃度と可算集合
第6回	実数の性質1 (非可算集合)
第7回	実数の性質2 (上界と下界、上限と下限)
第8回	距離の概念
第9回	数列の単調性と有界性
第10回	数列の収束の概念
第11回	収束する条件と検証
第12回	関数の極限の概念
第13回	関数の連続とその検証
第14回	連続関数の性質
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587047901	科目番号 / Course code	05870479
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12331_005		
授業科目名 / Course title	b3日本語と社会 / Japanese and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前田 桂子 / Keiko Maeda, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	前田 桂子 / Keiko Maeda, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	前田 kmaeda_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 大平 ohirat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	前田 教育学部棟6階 624研究室 大平 教育学部棟6階 613研究室		
担当教員TEL/Tel	前田 2301 大平 2305		
担当教員オフィスアワー/Office hours	前田、大平とも 火5		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	前半では、現代において進みつつある文法変化や意味変化、方言と共通語など身近な例を取り上げ、日本語の諸問題について考察する。また後半では、言語と空間・地域にかかわるさまざまな問題を考察する。		
授業到達目標/Course goals	身近な日本語の成り立ちについて理解を深め、その理由を自ら探求し、自分の言葉で説明する能力を身に付ける。また、人間の環境認知や地名について、多文化的な視点も加えつつ理解を深め自ら探求するとともに、自身の言葉で説明する能力を身に付ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中に課すレポート、小テスト (30%) 期末試験 (70%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の終了時にはその時間の振り返りをするとともに、次回の予習を求めます。		
キーワード/Keywords	現代語、文法、流行語、方言、環境認知、多文化化、地名		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	身近な日本語の由来や特徴を知り、日常的に使用している自らの日本語を内省します。積極的な参加を求めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	大平 晃久/中学校(社会)・高等学校(地歴・公民)非常勤講師/中高の授業に生かせる内容を講義するとともに、大学入試に対して地理教育分野からどう応えているかということを念頭に講義を行う。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 文字について
第2回	語彙について
第3回	訳語と外来語
第4回	標準語と俗語、若者語
第5回	敬語
第6回	方言
第7回	変化する文法
第8回	総括、確認テスト
第9回	言語と世界 (オリエンテーション)
第10回	言語と空間参照枠
第11回	地名のアルケオロジー
第12回	地名のソシオロジー
第13回	歌枕・万葉地理：場所のイメージ(1)
第14回	コンテンツ・ツーリズム：場所のイメージ(2)
第15回	多言語・多文化化と言語景観
第16回	期末試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587037702	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	b4身のまわりの科学 / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	武藤 浩二 / Cosy MUTO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 藤本 登 / Fujimoto Noboru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cosy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) n-fuji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	武藤: 教育学部 技術美術教室棟 206室 藤本: 教育学部 技術美術教室棟 111室		
担当教員TEL/Tel	武藤: 095-819-2361 藤本: 095-819-2360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	武藤: 8:00-8:45及び昼休み 藤本: 8:00-8:45及び昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちの生活に潜む問題点を科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。		
授業到達目標/Course goals	自ら生活や社会に潜む問題点を発見し、それを解決するための考え方とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時に提示課題の評価 (50%) 最終レポート (30%) 講義中のディスカッション等の貢献度 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 事前配布資料に目を通した上で講義に臨むこと。事前課題がある場合は実施しておくこと。また関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。内容によっては事業者等に問い合わせが必要になるものもありますので、講義やLACSの指示に注意してください。(2h) 事後学習: テキストとレジユメを再読し、理解を確実にするよう努めること。その上で課題に取り組み提出すること。(2h)		
キーワード/Keywords	科学と疑似科学, ロボット, AI, 設計とトレードオフ, エネルギー, 放射線, 納得力		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>講義資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。</p> <p>参考書及び参考資料：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢田哲治ほか（編），科学技術をよく考える クリティカルシンキング練習帳，名古屋大学出版会，2013 ・安斎育郎，人はなぜだまされるのだろうか？，かがわ出版，2011 ・黒田光太郎ほか（編），誇り高い技術者になろう [第2版]，名古屋大学出版会，2012 ・デイヴィッド・ボダニス，電気革命 モールス、ファラデー、チューリング，新潮文庫10514，新潮社，2016 ・世界自然保護基金ジャパン，エコロジカル・フットプリント・レポート日本2014 ・省エネルギーセンター，エネルギー経済統計要覧 ・経済産業省，エネルギー白書 ・環境省，環境・循環型社会・生物多様性白書 <p>など</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	生活や社会を改善したい、未来のエネルギー社会を考えたい学生
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>
備考（URL）/Remarks (URL)	実験があるために受講人数（40人程度）の制限があります
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>武藤浩二/技術系国家公務員として国の無線通信系の構成・維持・運営，通信電子機材の研究開発・メーカー技術指導/公益財団法人技術系担当課長として，半導体ベンチャー企業に対するインキュベーション支援/電子機器製造業技術系社員に対する講義/高校生等に対するロボット・プログラミング教室の講師</p> <p>藤本 登/工学部助手等で、実験装置の設計、製作、測定。北九州市立科学館等でロボット教室の講師。企業等の指導・共同研究。/シラバスの機構及び制御に関する内容について、学校現場の状況、子どもの理解度、教材化及び実用化に関する具体的な例示と演示/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<p>オリエンテーション（概要、ねらい、ルール）</p> <p>テーマ：身の回りに潜む科学と疑似科学 1（血液型性格判断）</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第2回	<p>テーマ：身の回りに潜む科学と疑似科学 2（マイナスイオン，リアルとバーチャルの狭間）</p> <p>・個人課題付与</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第3回	<p>テーマ：情報科学の将来と私たちの社会生活 1</p> <p>・講義及びグループ討論</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第4回	<p>テーマ：情報科学の将来と私たちの社会生活 2</p> <p>・グループ討論結果プレゼンテーション</p> <p>・個人課題付与</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第5回	<p>テーマ：設計とトレードオフ 1</p> <p>・講義及びグループ討論</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第6回	<p>テーマ：設計とトレードオフ 2</p> <p>・グループ討論結果プレゼンテーション</p> <p>・個人課題付与</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第7回	<p>テーマ：エネルギーが途絶したら 1</p> <p>・講義及びグループ討論</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第8回	<p>テーマ：エネルギーが途絶したら 2</p> <p>・グループ討論結果プレゼンテーション</p> <p>・個人課題付与</p> <p>担当：武藤浩二</p>
第9回	<p>テーマ：これからの電力需給を考える 1</p> <p>担当：藤本登</p>

第10回	テーマ：これからの電力需給を考える 2（電源の特徴を踏まえて2030年の電源構成を創造する） 担当：藤本登
第11回	テーマ：放射線を通して原子力発電について考える 1（放射線の影響と利用） 担当：藤本登
第12回	テーマ：放射線を通して原子力発電について考える 2（放射線関連の実験） 担当：藤本登
第13回	テーマ：高レベル放射性廃棄物の処分問題を考える 1（高レベル放射性廃棄物処理とは） 担当：藤本登（原子力発電環境整備機構：NUMOとのコラボWS）
第14回	テーマ：高レベル放射性廃棄物の処分問題を考える 2（高レベル放射性廃棄物処分地選定） 担当：藤本登（原子力発電環境整備機構：NUMOとのコラボWS）
第15回	全体討議：持続可能な社会に必要な人材とは 担当：武藤浩二

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593002101	科目番号 / Course code	05930021
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b4持続可能な社会づくり / Creating a sustainable society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高 橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鎌田 英一郎 / Eiichiro Kamada, 藤本 登 / Fujimoto Noboru, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高 橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2(医・保・歯・情・工・環), 3, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	e-kamada nagasaki-u.ac.jp (鎌田) メールを送信する際は を@に変えてください kosuket nagasaki-u.ac.jp(高橋) izumi nagasaki-u.ac.jp (石川) n-fuji nagasaki-u.ac.jp (藤本)		
担当教員研究室/Office	教育学部 美術技術教室 115室 (鎌田) 教育学部2階 233研究室 (高橋) 教育学部2階 231研究室 (石川) 教育学部 美術技術教室 111室 (藤本)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2362 (鎌田) 095-819-2404 (高橋) 095-819-2406 (石川) 095-819-2360 (藤本)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	鎌田英一郎: 月 (10:30 ~ 11:00) 高橋甲介: 木 (10:30 ~ 11:00) 石川衣紀: 火 (10:30 ~ 11:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目まぐるしく変化する「社会」の中で私たちはどのようにその変化に対応し、持続可能な社会をつ くる一員として過ごしていかなければならないのでしょうか。「持続可能な社会」では、自然科学 や環境、弱者・マイノリティ、持続可能な社会づくりをテーマに、身のまわりからグローバルな範 囲までの問題・課題を教育現場(学校や地域社会)の視点から解決し学んでゆきます。		
授業到達目標/Course goals	持続可能な社会に向けて、身のまわりの事例から問題点を発見し、解決に向けた知識・技能を身に 付けることができるようになる。 問題解決に向けた行動のありようを多様な視点から分析し、社会や環境、弱者・マイノリティ、持 続可能性の観点から考えを持ち表現できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義時に提示課題の評価・レポート (80%) 講義中のディスカッション等の貢献度 (20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>予習 (2h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前予告やシラバスから関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。 ・課題が出る回もあります。講義やLACSの指示に注意してください。 <p>復習 (2h)</p> <p>テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。</p>
キーワード/Keywords	持続可能な社会, 環境問題, 食料生産, 行動分析学, 多様性, 共生社会, SDG s
教科書・教材・参考書/Materials	資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	実験がありますので受講制限 (40名) があります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>藤本 登/工学部助手等で、実験装置の設計、製作、測定。北九州市立科学館等でロボット教室の講師。企業等の指導・共同研究。/シラバスの機構及び制御に関する内容について、学校現場の状況、子どもの理解度、教材化及び実用化に関する具体的な例示と演示/</p> <p>鎌田 英一郎/教育現場における教員経験/教員経験を活かし、学校現場での授業内容と大学での講義内容の関連性、授業づくり、教材作りへの活かし方等を指導する。/高橋甲介/自治体や社会福祉法人の児童発達支援事業の心理指導員として発達につまづきや遅れのある子どもの指導やその保護者に対する相談を行った。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	環境問題のトレードオフを考える (世界食料デーから考える食と人間) 担当: 鎌田英一郎
第2回	環境問題のトレードオフを考える (パーチャルウォーターから考える食と水) 担当: 鎌田英一郎
第3回	環境問題のトレードオフを考える (世界と日本の食料事情から考える食と生産) 担当: 鎌田英一郎
第4回	環境問題のトレードオフを考える (持続可能な社会に向けて) 担当: 鎌田英一郎
第5回	環境問題と心理学 (環境問題と個人の行動) 担当: 高橋甲介
第6回	環境問題と心理学 (行動分析学の諸法則) 担当: 高橋甲介
第7回	環境問題と心理学 (行動分析学を用いた問題解決のプロセス) 担当: 高橋甲介
第8回	環境問題と心理学 (行動分析学を用いた環境問題の改善) 担当: 高橋甲介
第9回	弱者・マイノリティと持続可能な社会 LGBTと私たちの社会 担当: 石川衣紀
第10回	弱者・マイノリティと持続可能な社会 外国人児童と私たちの社会 担当: 石川衣紀
第11回	弱者・マイノリティと持続可能な社会 夜間中学校と私たちの社会 担当: 石川衣紀
第12回	弱者・マイノリティと持続可能な社会 障害者と私たちの社会 担当: 石川衣紀
第13回	持続可能な社会を考える (エコロジカルフットプリントを利用して) 担当: 藤本登
第14回	持続可能な社会を考える (エネルギーの視点から) 担当: 藤本登
第15回	SDGsの視点から考察する 担当: 藤本登

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587012101	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	b5経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小野 哲 / Ono Tetu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onotetsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス) 本館5階532研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	片淵キャンパス常勤のため授業の前か終了後。もしくはE-mail (onotetsu@nagasaki-u.ac.jp)にて受け。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ビジネスにおいては、お金の流れや会社の状態を把握することが重要です。そのために不可欠な会計の知識として、この授業ではまず財務3表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書)の基本的な中身について学びます。つぎに経営指標などの内容を理解したうえで、学生が任意に会社を選択し、財務諸表分析によって選択した会社の経営内容を診断します。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通じて受講者は、以下の目標に到達することが期待されます(カッコ内の数字は「全学モジュールの目標および授業編成の視点との対応関係を示しています」)。 (1) 財務3表の基本的な内容を把握できる(2、5、8、10、B)。 (2) ベーシックな経営指標など会計を用いた技法を理解できる(2、5、8、10、B)。 (3) 実際の企業データを使って、企業のベーシックな財務諸表分析ができる(2、4、5、7、8、10、12、B、D)。 なお「全学モジュール目標および授業編成の視点」については、『全学モジュール科目案内』を参照してください。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	対面授業(事情によりオンラインリアルタイム型の授業が含まれるケースもあり得る)の場合は2/3以上出席(評価の前提条件)した上で、小テスト30点(6点×5回)+レポート課題70点(プレゼンテーション含む)=合計100点のうち60点以上を合格とします。 オンラインデマンド型の授業になった場合は、小テスト30点(6点×5回)+レポート課題70点(プレゼンテーション含まない)=合計100点のうち60点以上を合格とし、評価の前提条件である2/3以上出席はなくなります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<予習> テキストの該当範囲について事前に読んでおくこと(2h)。 <復習> 授業内容および小テストを含む配付資料をもとに復習すること(2h)。		

キーワード/Keywords	財務3表、経営指標、財務諸表分析（経営分析）	
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】 林 總『会社の数字が面白いほどわかる「財務3表」入門』三笠書房、の「はじめに・プロローグ、第1章、第2章、第3章」を使用。ただし同書が絶版になったため、受講生は第1回目の授業開始前までに教員のメールアドレスへ、件名に所属学部・番号・氏名を明記し、「b5 経営情報と会計情報の教科書」と書いたメールを送信し、教員からの返信メールに添付された該当箇所のファイルを手取りするようにしてください。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特にありませんが、会社の経営に興味のある学生向きの内容です。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考（URL）/Remarks（URL）	財務3表は有価証券報告書等の開示種類に関する電子開示システム（EDINET：https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/）で入手することができます。使い方はトップページの「種類検索」をクリックし、次画面の「提出者／発行者／ファンド」の欄に会社名を入力	
学生へのメッセージ/Message for students	実際の会社のデータを用いたレポート作成を課しますから、上記のEDINETや会社のHPを任意に選択し「株主のみなさんへ」とか「IR資料室」などのバナーをクリックし、その内容を見ておいてください。 またオンラインデマンド型の授業になった場合各回の内容は、15回のプレゼンテーションが中止になる以外変更はありません。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1回(4/12)	授業ガイダンス	F
2回(4/12)	会計の基本ー売上高、費用、利益、現金の流れの学習ー	F
3回ー4回(4/19)	財務3表ー損益計算書入門ー 第1回小テスト	F
5回ー6回(4/26)	財務3表ー貸借対照表入門ー 第2回小テスト	F
7回ー8回(5/10)	財務3表ー貸借対照表入門、キャッシュ・フロー計算書入門ー 第3回小テスト	F
9回ー10回(5/17)	会計不正ー利益操作についてー 経営指標についての学習ー総資産利益率、自己資本利益率ー	F
11回ー12回(5/24)	経営指標についての学習ー自己資本比率、流動比率、当座比率、固定比率、固定長期適合率、売上高増加率ー 第4回小テスト	F
13回ー14回(5/31)	ヤマダ電機の分析例 課題レポートの説明 第5回小テスト	F
15回(6/7)	課題レポートのプレゼンテーション及び提出	A B C D

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593002301	科目番号 / Course code	05930023
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b5ゲーム理論入門 / Introduction to Game Theory		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori, 小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yoshizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階 510号室.		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日14:00 ~ 15:00.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	経済学のみならず、経営学、政治学、社会学、法学といった社会科学全般や心理学、哲学、倫理学 といった人文科学、生物学、物理学、計算機科学、工学といった自然科学でも研究され応用されて いるゲーム理論の基本的な考え方を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけられる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	問題演習(60%), 定期試験(40%)で評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】テキスト・参考書の関連箇所を読み、分からない箇所を明確にしておくこと。(4h) 【復習】テキスト・参考書と講義資料・ノートを再読し、理解を確実にするよう努め、講義中に扱 う演習問題について復習すること。(4h)		
キーワード/Keywords	非協力ゲーム理論, 完備情報のゲーム, 戦略形ゲーム, 展開形ゲーム。		
教科書・教材・参考書/Materials	【教科書】 渡辺 隆裕 『ゼミナール ゲーム理論入門』日本経済新聞出版社, 2008年 を予定しているが, 渡辺 隆裕 『一歩ずつ学ぶ ゲーム理論 - 数理で導く戦略的意思決定 - 』裳華房, 2021年 に変更する可能性もある。授業開始までに通知する。 【参考書】 ・梶井 厚志, 松井 彰彦 『ミクロ経済学 戦略的アプローチ』日本評論社, 2000年。 ・岡田 章 『ゲーム理論・入門 新版 人間社会の理解のために』有斐閣, 2014年。 ・岡田 章 『ゲーム理論 新版』有斐閣, 2011年。 ・岡田 章, 他 『ゲーム理論ワークブック』有斐閣, 2015年。 ・船木 由喜彦 『演習ゲーム理論』新世社, 2004年。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	試験で良い成績を収めたいのであれば、 ・岡田章 (2011) 『ゲーム理論 新版』 有斐閣 ・岡田章、他 (2015) 『ゲーム理論ワークブック』 有斐閣 ・船木由喜彦 (2004) 『演習ゲーム理論』 新世社 といった上級のテキストでの学習及び問題集での演習を勧める。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス、導入。
第2回	戦略形ゲームの基礎#1.
第3回	戦略形ゲームの基礎#2.
第4回	完全情報の展開形ゲーム#1.
第5回	完全情報の展開形ゲーム#2.
第6回	問題演習#1.
第7回	戦略形ゲームの応用#1.
第8回	戦略形ゲームの応用#2.
第9回	戦略形ゲームの応用#3.
第10回	戦略形ゲームの応用#4.
第11回	問題演習#2.
第12回	一般の展開形ゲーム#1.
第13回	一般の展開形ゲーム#2.
第14回	一般の展開形ゲーム#3.
第15回	問題演習#3.
第16回	定期試験.

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587010501	科目番号 / Course code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Course title	b6国際社会と日本経済 / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeta373mori nagasaki-u.ac.jp (@) ただし、メールでの問い合わせの回答は遅れる可能性があるためLACSのメッセージ機能をご利用ください。		
担当教員研究室/Office	経済学部本館625号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜 : 12:00 ~ 13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	16世紀初頭から19世紀後半半ばまでを対象期間として、各時代の経済人たちが日本を国際社会の中でどのように位置づけようとしていたのか解説をおこなう。		
授業到達目標/Course goals	(1) 各時代の経済人の考え方について説明できる。 (2) 過去の人びとが国際社会についてどのように考えていたのか、そのなかで日本をどのように位置づけていたのかを説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平常課題(5回 : 50%) 期末レポート(1回 : 50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習 : LACSにアップしたレジюмеに目を通して講義にのぞむこと。(2h) 事後学習 : レジюмеや講義内容をまとめ、理解を確実にすること。(2h)		
キーワード/Keywords	国際社会、国家、「鎖国」		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書 : なし 教材 : LACSにアップします。 参考文献 : 杉原四郎・逆井孝仁・藤原昭夫・藤井隆至編著『日本の経済思想四百年』日本経済評論社、1990年。 増崎英明・長崎大学地域文化研究会『今と昔の長崎に遊ぶ』九州大学出版会、2021年。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	歴史が大好きな人大歓迎です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	よりよき学びの環境作りを受講生一人ひとりが作り出すようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	中世と近世：中世社会と近世社会の特色
第2回	キリスト教の伝来と南蛮貿易：16世紀後半の国際社会に対する認識
第3回	江戸幕府の外交政策：江戸時代初期の幕府首脳の国際社会に対する認識
第4回	江戸時代の海外貿易：江戸時代の海外貿易
第5回	新井白石：新井白石の国際社会に対する認識
第6回	長崎における通訳たち：阿蘭陀通詞・唐通事の国際社会に対する認識
第7回	18世紀末から19世紀初頭の国際情勢：日本を取り巻く環境の変化
第8回	本多利明：本多利明の経済思想、国家観
第9回	開国と開港：開国と開港が日本に及ぼした影響
第10回	居留地：居留地が日本に及ぼした影響
第11回	幕末・明治初期の新知識・新技術の導入：お雇い外国人の役割
第12回	幕末・明治初期の新知識・新技術の導入：留学の役割
第13回	19世紀後半の知識人：福澤諭吉の国際社会に対する認識
第14回	19世紀後半の知識人：神田孝平の国際社会に対する認識
第15回	全体のまとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593002501	科目番号 / Course code	05930025
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b6企業経営の仕組み / Business Management System		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辺見 英貴 / hemmi hidetaka, 南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	辺見 英貴 / hemmi hidetaka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hidetaka.hemmi nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は @を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階608研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6341		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後、もしくは事前にメールで連絡いただければ、時間調整します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>企業経営の仕組みでは、企業の形態や機能、企業を取りまく環境や地域との関わりについて学習する。</p> <p>具体的には、まず企業の目的(アウトプット)を明らかにし、資金調達(インプット)の構造を講義する(第2回・第3回)。次に、日本の経済発展に伴う企業の変化や、企業が目論む長期的な戦略を捉えていく(第4回)。</p> <p>さらに、企業は環境からの影響を受けて適応するように、企業と環境の関係について講義する(第5回)。次に、環境からの影響を受けた企業がどのような組織デザインに変わっていくのかについて講義する(第6回)。続いて、企業組織をどのように管理していくのかを扱う管理論の概観をふまえ、日本的経営の構造について講義する(第7・8回)。</p> <p>次に、企業の多様な形態として、株式会社や大企業、中小企業やベンチャー企業、ファミリービジネスや非営利組織における構造や実態について講義していく(第9回~第11回)。さらに、企業を統治するガバナンスの視点について学んでいく(第12回)。</p> <p>加えて、企業のローカルおよびグローバルな位置づけについて学習する(第13・14回)。</p> <p>最後に、企業が社会にどうあるべきかという社会的な位置づけについて講義する(第15回)。</p> <p>なお、授業形態は対面であるが、コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に応じて変更する可能性がある。</p>		
授業到達目標/Course goals	1. 企業の形態や機能について説明ができる。() 2. 企業を取りまく環境との関わりについて理解する。()		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習復習課題(30点) + 最終レポート(70点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習・復習課題に取り組むこと。(2h) 復習はレジュメおよび授業で提示された参考書をもとに理解の確認をすること。(2h) また、時事的な問題に日頃から関心を持つことで、企業に対するさらなる理解が深まります。		

キーワード/Keywords	企業の目的と機能、企業の組織構造、日本の経営、地域経済・海外進出、コーポレート・ガバナンス
教科書・教材・参考書/Materials	参考書 三戸浩・池内秀己・勝部伸夫 (2018) 『企業論：第4版』有斐閣アルマ。 吉村典久・田中一弘・伊藤博之・稲葉祐之 (2017). 『企業統治』中央経済社。 その他にも、関連する書籍や文献を適宜紹介します。
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	企業内外のマネジメントについて関心を持つ学生が望ましい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	企業論を学ぶことは、企業や社会に関する枠組みや構造の理解につながります。また、所属している組織に応用できるような授業をしていきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	企業とは何か? 企業の定義と現代の役割 本授業では授業の進め方、参考書籍の紹介をする。次に「企業経営の仕組み」では何を学習するのか、企業とは何なのかを大きな問いとして講義する。本授業の目的は、基本的な企業や社会の構造を理解できること、これから本授業で学ぶ全体像を把握することである。具体的には、企業をみる視点・実態・目的について講義する。
第2回	企業の経営と統治 企業による価値の創造 企業は消費者に対して何らかの価値を提供することが求められる。本授業では、企業は何を目的に活動するのかという根源的な問いについて講義する。具体的には、付加価値の内容と重要性、企業が他の企業と比べて優位性をどのように確保するのか、企業の経営・統治とは何かについて学習する。
第3回	企業の経営と統治 資金調達仕組み 企業は資金を集めてはじめて価値のあるものを生み出すことができる。本授業では、企業はどのように資金調達をするのかについて講義する。具体的には、資金の役割や流れ、金融市場とプレイヤーの役割、株式会社における株主の権利、企業の資金調達方法と、新しい資金調達方法について講義する。
第4回	財・サービスを生産する企業 大企業の長期戦略 企業が生み出す商品のなかにはロングセラーの商品がある。本授業では、企業はどのように長期的な商品を生み出すのかについて講義する。つまり、どのように企業は消費者に商品を買ってもらうのかという戦略と、消費者に買ってもらうための広告、さらには国際化・多国籍化について学習する。
第5回	企業のデザイン 企業組織の構造 企業は環境からの影響を受けてあらゆる構造に変化する。本授業では、大企業の組織的特徴を述べたのちに、環境適応のために企業はどのような組織形態を選択しているのかを学ぶ。具体的には、官僚制の基本的な構造と、官僚制の逆機能、ライン組織、事業部制組織、マトリックス組織のような組織構造について学習する。
第6回	企業のデザイン 企業組織の文化 企業は組織構造のようなハードの側面だけでなく、ソフトの側面からも理解できる。本授業では、第5回の組織構造とは対照的にソフトな側面として組織文化に着目する。企業組織をハードとソフトの両面からみることで組織の仕組みについて相対的に理解できる。
第7回	日本的経営の構造 日本企業の特徴 本授業では日本企業の独自性について講義する。特に、日本的経営の変遷を振り返り、日本の企業様式の特徴について論じていく。さらに、日本には系列と呼ばれる企業同士の結合関係があることを学ぶ。最後に日本的経営の課題について学習する。
第8回	株式会社としての企業 株式会社の機能 企業の多くの割合を占めるのは、株式会社である。本授業では、株式会社はどのような仕組みなのかについて講義する。さらに、株式会社は様々なステークホルダーに支えられている。株式会社とは誰のものなのかについて講義していく。

第9回	<p>企業の形態 中小企業・ベンチャー企業</p> <p>日本の中小企業数は全企業の99%以上の割合を占める。本授業では、大企業と中小企業・ベンチャー企業にはどのような違いがあるのかについて講義する。</p>
第10回	<p>企業の形態 ファミリービジネス、非営利組織</p> <p>日本には家族経営の企業が数多く存在するため、本授業ではファミリービジネスについて講義する。さらに、企業には営利を目的とするだけでなく組織も存在する。そこで、本授業では非営利組織の特徴について講義する。</p>
第11回	<p>コーポレート・ガバナンス 企業統治の問題</p> <p>大企業の舵取りをすることは、その大きさゆえに困難かつ重要である。本授業では大企業をどのように統治するのかについて講義する。具体的には、日本におけるコーポレート・ガバナンスの問題点と新しい局面について講義する。</p>
第12回	<p>企業と地域経済 地域経済に貢献する企業</p> <p>地域経済の発展のためには、企業と地域の関わりが重要になる。例えば、企業は地域のスポーツや文化に対する支援をしている。本授業では、地域に貢献する企業の取り組みについて講義する。</p>
第13回	<p>日本企業の海外進出 多国籍企業の経営と国際経営戦略</p> <p>日本には国内にとどまらず、国境を超えて経営する企業がある。例えば、製品の輸出や海外生産・研究開発があげられる。本授業では国際経営の特徴や、経営戦略や経営目標の視点から国際経営について学ぶ。第12回と第13回を通じて、ローカルとグローバルの両側面における企業の理解を深めていく。</p>
第14回	<p>企業の社会的位置づけ 企業の社会的責任と企業倫理</p> <p>企業は利益の追求だけでなく、社会に対しての責任を負っている。本授業では、企業と社会との関係性について講義する。さらに本授業は、企業の社会的な位置づけについて講義する。企業をより良く統治するために倫理的な視点で経営する重要性について講義する。</p>
第15回	<p>ラップアップ</p> <p>本授業では、企業経営の仕組みで学習した内容について振り返る。レポート課題についての説明も行う。</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593002701	科目番号 / Course code	05930027
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b7「視覚の科学」を学ぶ / Science of Vision		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大石 明生, 植木 亮太郎, 北岡 隆 / Kitaoka Takashi, 築城 英子 / Tuiki Eiko, 上松 聖典 / Uematu Masafumi, 草野 真央 / Kusano Mao, 前川 有紀 / Maekawa Yuki, 山田 香菜子, 井上 大輔, 熊井 良彦		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大石 明生		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大石 明生, 植木 亮太郎, 北岡 隆 / Kitaoka Takashi, 築城 英子 / Tuiki Eiko, 上松 聖典 / Uematu Masafumi, 草野 真央 / Kusano Mao, 前川 有紀 / Maekawa Yuki, 山田 香菜子, 井上 大輔		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akio.oishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合研究科眼科・視覚科学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7345		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 17:00-19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	カンブリア紀に眼を持つ生物が爆発的に増え、多様性を持ってきた。 本授業では生物の視覚器の発生からはじまり高度に発達した眼までの構造と機能をみていく。また 視覚を脅かす病気やケガ、そしてそのために生じる障がいについて概説する。 さらに障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えてもらう。また標準的な色覚とそのバ リエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践する。さらにアイバンク、盲学校に についても学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	ヒトを含む生体は生きていく上で、様々な刺激を受けとりそれに対して反応する。 古代アリストテレスはヒトが外界を感知する感覚機能を5つに分類した。すなわち視覚、聴覚、嗅 覚、味覚、触覚の五感である。現在ではヒトの感覚はもっとあり、細かく分類すると20以上ある と考えられているが、その中で視覚は外界からの刺激の80%以上を伝える器官として最も重要であ る。視覚器の発生・進歩を知り、それがどのような障がいを受ける危険性があるか、また障がい を受けた場合にどのようなハンディキャップを生じるかを考えていく。障がいから回復するような治 療が行われ成果をあげているが、一方で、障がいが残る場合も多い。人間の叡智はハンディキャ ップを様々な方法で乗り越えてきたが、その過程・方法を一緒に考えていきたい。 そして最終的に、視覚を司る眼の構造の概略を説明できる、代表的な眼の病気について理解してい る、色覚の発生が説明でき、色覚のダイバーシティについて理解できる、ロービジョンケアの初 歩を実践できる、といったことを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席(40%) レポート(40%) 授業への取り組み(5%) 課題プレゼンテーション(15%) により評価す る。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	初回は目が見えなくなったらどんな事に困るか考えてくること。2回目以降は次回の課題を提示するので予習してくること(2h) その後講義ではプリントを配布し、内容の理解を深めるようにする。復習としてプリントを参考にしながら理解を確実なものにする。
キーワード/Keywords	視覚、アイバンク、ロービジョンケア、色覚
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はない。講義資料を配付。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	外界の情報のほとんどを得る手段である視覚の重要性について学び、視覚、色覚等の多様性を理解してほしい。またロービジョンのヒトに対するケアに積極的に関わってほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	北岡 隆/眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、生物の視覚器の発生からはじまり高度に発達した眼までの構造と機能に関する基本的知識を学び、色覚の発生が説明でき、色覚のダイバーシティについて理解できる、ロービジョンケアの初歩を実践できるところまでを目標に授業を行う。 上松 聖典/眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、生物の視覚器の発生からはじまり高度に発達した眼までの構造と機能に関する基本的知識を学び、色覚の発生が説明でき、色覚のダイバーシティについて理解できる、ロービジョンケアの初歩を実践できるところまでを目標に授業を行う。 築城 英子/眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えて、標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践するための基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。 大石 明生/眼科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、障害で生じたハンディキャップを補う方法を自ら考えて、標準的な色覚とそのバリエーションについて理解し、ロービジョンケアの初歩を実践するための基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	眼のしくみ ヒトの眼の構造を例として視覚情報を取り込む器官を概説し、その仕組みを考える。
第2回	眼のはたらき ヒトの眼がいかに視覚情報を伝達して構築するかを考える。
第3回	眼の進化1 単純な眼から複雑な構造・機能を持った眼への進化を考える。
第4回	眼の進化2 様々な動物の眼のしくみを比較しながら特性を考える。
第5回	眼の透明組織 眼には体の他の部位にはみられない透明組織が多く存在する。その理由と透明性を保つしくみを考える。
第6回	近視、遠視、乱視 眼の屈折の特性について考え、さらに近視が増加している現状についても考える。
第7回	角膜 角膜の生理、病態について考える。
第8回	アイバンク 角膜移植を斡旋する公的機関であるアイバンクについて概説し、臓器提供についても考える。
第9回	水晶体 角膜と同じく透明組織である水晶体について、その生理、病態を考える。
第10回	眼内レンズ 水晶体を摘出した際に、代わりに人工のレンズを挿入する。これについて考える。
第11回	全身疾患と眼1 糖尿病や高血圧が眼に及ぼす影響を考える。
第12回	全身疾患と眼2 眼に影響を及ぼすその他の疾患について考える。

第13回	色覚とその異常 ヒトの視覚は3色覚で構成されているが、実はその感じ方には個人差がある。色を感じる原理とその異常について考える。
第14回	ロービジョンケア 視力不良の患者さんのケアを考える。
第15回	子供の視力の発達と盲学校 小児期の視力の特性と盲学校について考える。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593002901	科目番号 / Course code	05930029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b7重要な耳鼻咽喉科学(聴覚・嗅覚・味覚)を学ぶ / Disorders and Recovery of the Sense and Function in Otolaryngology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	熊井 良彦, 吉田 晴郎 / Yoshida Haruo, 木原 千春 / Kihara Chiharu, 佐藤 智生, 西 秀昭		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	熊井 良彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	熊井 良彦, 吉田 晴郎 / Yoshida Haruo, 木原 千春 / Kihara Chiharu, 佐藤 智生, 西 秀昭		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	<p>授業に関する連絡は池永先生宛に送ってください。 学生連絡担当： 池永まり mariikenaga nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)</p> <p>教務担当： 吉田 晴郎 yharuo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)</p>		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院本館11階 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野担当		
担当教員TEL/Tel	095-819-7349		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>ヒトを含む生体は生きていく上で、様々な刺激を受けとりそれに対して反応する。古代アリストテレスはヒトが外界を感知する感覚機能を5つに分類した。すなわち視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の五感である。現在ではヒトの感覚はもっとあり、細かく分類すると20以上あると考えられているが、これらの五感はコミュニケーションにとって非常に重要であり、ヒトの生活の質(QOL)を決める重要な要素である。</p> <p>本テーマでは五感の仕組みや疾患との関連性、どのような障がいを受ける危険性があるか、また障がいを受けた場合どのようなハンディキャップを生じるかを考えていく。障がいから回復するような治療が行われ成果をあげているが、一方で、障がいが残る場合も多い。人間の叡智はハンディキャップを様々な方法で乗り越えてきたが、その過程・方法を一緒に考えていきたい。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1. 感覚器や機能の障がいをもつということ、個の多様性、またそのような障がいをもつ人が社会で生活を送るうえでの問題点を理解できる。</p> <p>2. 感覚器や機能の障がいをもつ人に接する際に、望ましい配慮・行動ができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(70点) + 授業への取り組み(30点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	高等学校生物 Bおよび生物 で使用した図譜などを用い、感覚器、とくに聴覚・嗅覚・味覚・触覚についての概要を把握して授業に臨むことが望ましい。(4時間)
キーワード/Keywords	聴覚、嗅覚、味覚、平衡覚、摂食、嚥下、音声、言語、頭頸部癌
教科書・教材・参考書/Materials	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	熊井 良彦/長崎大学病院における診療業務/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 吉田晴郎/長崎大学病院における診療業務/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 西秀昭/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 北岡杏子/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 木原千春/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 佐藤智生/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 山本昌和/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/ 池永まり/耳鼻咽喉科・頭頸部外科において医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、聴覚・嗅覚・味覚・平衡覚に関わる感覚器や、摂食・嚥下、また人間が人間らしく生きる上で重要な音声・言語といった機能に関して基本的知識、技能を講義、実習等により教授し、感覚器や機能の障がいをもつかたに接する際に、望ましい配慮・行動をとれるような講義を行う。/
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
1	耳鼻咽喉・頭頸部領域総論 嚥下1 生理と障害
2	嚥下2 リハビリと手術
3	聴覚(耳)1 耳の解剖・生理
4	聴覚(耳)2 様々な聴力検査について
5	聴覚(耳)3 外耳・中耳
6	聴覚(耳)4 内耳
7	側頭骨疾患、顔面神経
8	人工内耳
9	嗅覚(鼻疾患)1
10	嗅覚(鼻疾患)2

11	平衡覚（１）平衡機能検査
12	平衡覚（２）めまい疾患の診断と治療
13	頭頸部癌（１）
14	頭頸部癌（２）
15	側頭骨・頭蓋底疾患
16	口腔・咽頭・唾液腺疾患
17	まとめ（１）よくみられる耳鼻咽喉科疾患と対処
18	まとめ（２）よくみられる耳鼻咽喉科疾患と対処

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593003101	科目番号 / Course code	05930031
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b8ジェネティクスとエピジェネティクスの違い / Difference between Genetics and Epigenetics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 池田 裕明, 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉浦 孝一郎 / Yoshiura Kouitirou, 池田 裕明, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	吉浦孝一郎<kyoshi_nagasaki-u.ac.jp> 池田裕明<hikedata_nagasaki-u.ac.jp> 木住野達也<kishino_nagasaki-u.ac.jp> (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) 伊達木澄人<sdateki1_nagasaki-u.ac.jp>		
担当教員研究室/Office	長崎大学原爆後障害医療研究所 2階人類遺伝学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7120		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日PM5:00-6:00 木曜日PM5:00-6:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヒトの病気や様々な体質が遺伝 (genetics) にもとづくものであることを理解するとともに, エピゲノムによっても調整されていることを学ぶ。それらの知識をもとに, 最近のいろいろな話題を取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	1. 遺伝現象について説明出来る。 2. 遺伝の原理について説明出来る。 3. 遺伝子組換え技術とゲノム編集について説明出来る。 4. 遺伝性疾患の成り立ちを概説できる。 5. エピジェネティック現象について説明出来る。 6. がんと遺伝, がんエピジェネティック現象について説明出来る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に積極的に取り組む姿勢 (50%), および 期末の試験 (50%) を参考に評価する。 講義回数の 1/3 を超えて欠席した学生には, 受験資格を認めない。 ただし, 担当教員 4 名は, 各々に評価する (25点/各自) ので, 担当教員の授業の始めによく確認すること。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>予習：授業資料は予めLACS を通して upload するので、それらに目を通して講義に望む。必要ならば、高校の教科書によって予習すること（目安：1時間）。</p> <p>復習：授業のノート、資料により復習して、考え方を身に付けること（目安：1時間）。</p>	
キーワード/Keywords	<p>遺伝（inheritance）、遺伝学（genetics）、エピジェネティクス（epigenetics）、ゲノム編集（genome editing）、がんの遺伝学（cancer genetics）、環境とジェネティクス・エピジェネティクス（interaction between environment and genetics/epigenetics）</p>	
教科書・教材・参考書/Materials	<p>指定しない。専門科目ではないので、授業資料で十分である。</p>	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<p>設定しない。</p>	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	<p>Y</p>	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>吉浦孝一郎：分子遺伝学研究に基づき、ジェネティクス、エピジェネティクスの基盤原理を解説する。</p> <p>池田裕明：がんの発症メカニズム、治療法研究に基づき、がん発症・治療におけるジェネティクス、エピジェネティクスの重要性を解説する。</p> <p>木住野達也：エピゲノム研究、遺伝子改変モデル生物研究に基づきそれ研究におけるジェネティクス、エピジェネティクスの重要性・有用性を解説する。</p> <p>伊達木澄人：遺伝性疾患の臨床経験に基づき、病気の発症原因や診断、治療についてジェネティクス、エピジェネティクスの観点から説明する。</p>	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回, 2022-Apr-12	<分子生物学入門：担当 吉浦> ジェネティクスとエピジェネティクス理解のための細胞と分子生物学入門。細胞機能や DNA / RNA の物理性質等を講義する。	F
第2回, 2022-Apr-12	<ジェネティクス・エピジェネティクスの基本原理：担当 吉浦> メンデル遺伝を含めた遺伝現象の基本、およびエピジェネティック現象の内容を講義する。	F
第3回, 2022-Apr-19	<ジェネティクスの臨床：担当 伊達木> メンデル遺伝病（常染色体優性、劣性遺伝）の臨床的特徴について概説する。	F
第4回, 2022-Apr-19	<ジェネティクスの臨床：担当 伊達木> メンデル遺伝病（X連鎖性）とミトコンドリア病の臨床的特徴について概説する。	F
第5回, 2022-Apr-26	<がんのジェネティクスとエピジェネティクス 1：担当 池田> 発がんにおけるジェネティクスとエピジェネティクスの意義を解説する。	F
第6回, 2022-Apr-26	<がんのジェネティクスとエピジェネティクス 2：担当 池田> がんの進展におけるジェネティクスとエピジェネティクスの意義を解説する。	F
第7回, 2022-May-10	<がん免疫 1：担当 池田> がん免疫の関わりを解説する。	F
第8回, 2022-May-10	<がん免疫 2：担当 池田> がん免疫療法について解説する。	F
第9回, 2022-May-17	<遺伝子組換え技術とゲノム編集：担当 木住野> 知ってるようで知らない遺伝子組換え技術と最新のゲノム編集について解説する	D
第10回, 2022-May-17	<遺伝子組換えと生物の多様性：担当 木住野> 生物の多様性と遺伝子組換えは密接に関わっています。それらと、ジェネティクス・エピジェネティクスの関わりについて解説する。	D
第11回, 2022-May-24	<遺伝子組換え技術と医療：担当 木住野> 医療にかかせない遺伝子組換え技術に、近い将来ゲノム編集が加わるかも知れない。技術の医学への応用について解説する。	D

第12回, 2022-May-24	<エビジェネティクスの臨床: 担当 伊達木> インプリンティング疾患の臨床的特徴について概説する。	F
第13回, 2022-May-31	<身近なエビジェネティクス: 担当 木住野> クローン生物を知ってますか? クローン生物の話題においても, ジェネティクス, エビジェネティクスは重要な役割を果たしている。それらの関わりについて解説する。	D
第14回, 2022-May-31	<遺伝カウンセリングの実際: 担当 伊達木> 遺伝性疾患を対象とした医療の実際における, 遺伝カウンセリングの実際、意義、必要性について理解する。 基礎的な学問であるジェネティクス, エビジェネティクスの医療への応用について説明する。	F
第15回, 2022-Jun-7	<身近なエビジェネティクス2: 担当 吉浦> 獲得形質の遺伝は, とんでも科学の一つ? 獲得形質の遺伝について, ジェネティクス, エビジェネティクスの観点から概説する。また, 最後に, 本講義全体のまとめを行う。	F
第16回, 2022-Jun-7	講師全員分についてまとめて期末試験を行う。ただし, 講師によっては, 異なる評価法, 途中の試験で評価する可能性もあるので, 各講師の指示に従って対策すること。 第16回目の講義日の試験は, 場合によっては, 第15回授業時から開始する可能性もあるので, 最終週は必ず出席すること!!	F

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593003301	科目番号 / Course code	05930033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b8ジェネティクスとエピジェネティクスと私達の健康 / Genetics/Epigenetics and Our Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 下崎 康治 / Shimozaki Kouji, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 下崎 康治 / Shimozaki Kouji, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部の2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hiromori_nagasaki-u.ac.jp (メール送信の際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院小児科10階教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7298		
担当教員オフィスアワー/Office hours	長崎大学病院小児科医局受付 10:00~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ジェネティクスとエピジェネティクスと私達の健康		
授業到達目標/Course goals	講義を通じて、ジェネティクスとエピジェネティクスの概念が理解できるようになる。自分自身の健康にそれがどのように関わるのか考察することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート提出 (100点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 特に求めない。 復習: それぞれの講義について提示される課題についてレポートを作成し提出する。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	講義日に講義に参加できること、オンライン(zoom)講義に必要な機材や環境が整っていること		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	実務家教員名: 森内 浩幸 (小児科) / 今村 明 (地域連携児童精神医学講座) / 西田 教行 (感染分子解析学) / 伊達木 澄人 (小児科) 実務経験内容 (大学医学部医学科・保健学科、教育学部などでの教育経験21年以上) 実務経験に基づく教育内容 (対面講義、オンライン講義、セミナー形式、実習指導など)
---	---

授業計画詳細 / Course Schedule

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1回目 / 4月11日 (月) 4限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
2回目 / 4月11日 (月) 5限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
3回目 / 4月18日 (月) 4限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
4回目 / 4月18日 (月) 5限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
5回目 / 4月25日 (月) 4限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
6回目 / 4月25日 (月) 5限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
7回目 / 5月9日 (月) 4限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
8回目 / 5月9日 (月) 5限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
9回目 / 5月16日 (月) 4限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
10回目 / 5月16日 (月) 5限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
11回目 / 5月23日 (月) 4限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
12回目 / 5月23日 (月) 5限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
13回目 / 5月30日 (月) 4限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
14回目 / 5月30日 (月) 5限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A
15回目 / 6月6日 (月) 4限目	講義担当: 森内 浩幸 / Hiroyuki Moriuchi, 今村 明 / Imamura Akira, 西田 教行 / Nishida Noriyuki, 伊達木 澄人 / Dateki Sumito 講義方法: 対面講義	A

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593003501	科目番号 / Course code	05930035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b9リプロダクティブヘルス入門 / Introduction to Reproductive Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 宮崎 あすか, 上野 美穂		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 宮崎 あすか, 上野 美穂		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学科・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyuki-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 医学部保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7950		
担当教員オフィスアワー/Office hours	miyuki-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	1・結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題について学び、リプロダクティブライフプラン(生殖に関する人生設計)を作成し一生を見渡すことで、自分自身の健康につなげることができる。 2・結婚、妊娠、出産、乳幼児の発育・発達、育児について学び、フィールドリサーチを行うことでリプロダクティブヘルスの健康課題を理解し、自らの課題として解決方法を考えることができる。		
授業到達目標/Course goals	リプロダクティブライフプラン(生殖に関する人生設計)について説明できる。 妊娠・出産・育児の中での役割について説明できる。 胎児・乳幼児の発育・発達と養護について説明できる。 結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決方法について発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業へ臨む態度 30点(15回×2点)小テスト20点、フィールドリサーチ課題10点、 課題レポート(ライフプラン作成)10点、グループワーク課題(リプロダクティブヘルス)10点 プレゼンテーション10点、最終課題レポート10点 計100点満点(60点以上で合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 各回の講義内容について文献、インターネット等を通じて予習する(2h)。 事後学習: レジメ等を参考にして授業内容についてノートにまとめる(2h)。		
キーワード/Keywords	リプロダクティブヘルス、プレコンセプション、結婚、妊娠、出産、育児		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書なし 必要に応じて資料を配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	とくになし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	リプロダクティブライフプラン（生殖に関する人生設計）を考え、自分自身の健康へとつなげてほしいと思います。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	永橋 美幸/助産師/妊娠中からの親子のコミュニケーションなどについて講義を行う。/ 宮崎あすか/助産師/リプロダクティブヘルス、プレコンセプション等について講義を行う。 上野 美穂/認定看護師（小児救急看護）/実務経験に基づき、小児の救急処置について本授業科目に必要な基本的知識を講義する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回（6/13）	授業ガイダンス リプロダクティブヘルスとは（永橋、宮崎）	A
第2回（6/13）	リプロダクティブライフプラン（生殖に関する人生設計）について（宮崎）	A
第3回（6/20）	避妊（宮崎）	A
第4回（6/20）	プレコンセプション・感染症（宮崎）	A
第5回（6/27）	グループワーク（リプロダクティブヘルスについて）（宮崎）	A B
第6回（6/27）	グループワーク発表（リプロダクティブヘルスについて）（宮崎）	A B
第7回（7/4）	マザリングマザー、妊娠中からの親子のコミュニケーション、出産（永橋）	A
第8回（7/4）	新生児の能力と養護、乳幼児の心身の発達・発育（マザリーズ）（永橋）	A
第9回（7/11）	乳幼児の病気（上野）	A C
第10回（7/11）	乳幼児の事故（上野）	A B C
第11回（7/25）	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題（フィールドリサーチ）（永橋）	A B C
第12回（7/25）	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題（フィールドリサーチ）（永橋）	A B C
第13回（8/1）	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決策（グループワーク）（永橋）	A B
第14回（8/1）	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決策（グループワーク）（永橋）	A B
第15回（8/8）	結婚、妊娠、出産、育児を含めたリプロダクティブヘルスに関する健康課題と解決策（プレゼンテーション）（永橋）	A B

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593003701	科目番号 / Course code	05930037
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	b9健康課題と健康増進 / Health Issues and Health Promotion		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 貴子 / Tanaka Takako, 古川 美和 / Furukawa Miwa, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 富永 ちはる		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 貴子 / Tanaka Takako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 貴子 / Tanaka Takako, 古川 美和 / Furukawa Miwa, 富永 ちはる		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年次生 医学科・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tanakataka_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科3F 田中研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 9:30~12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生自ら、青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、スポーツ、食事、メンタルヘルス等について理解する。また、健康に関わる問題点を抽出し、その解決方法を身につける。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体活動と食事のセルフチェックができるようになる。(DP-1・3) 2. 家庭医学知識のレベルを高める。(DP-1・3) 3. 青年期における健康づくりの意義と問題点について理解できるようになる。(DP-7) 4. 精神的な健康について理解できるようになる。(DP-7) 5. 健康における運動、スポーツの意義について理解できるようになる。(DP-7) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業へ臨む態度(20%), グループワーク・討論での積極性(20%), 発表およびレポート内容(60%)を総合して評価する。100点のうち, 60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習は、特に指定しないが、授業内容の理解と発表の為に事前に講義内容の十分な学修と知識の習得を行い、グループごとの意見のまとめを共同して準備すること。またディスカッションには積極的に参加すること。(毎回2時間) 復習 講義の内容について復習するとともに、講義に関連する事項について自主学習をし、プレゼンテーションにおける指摘事項等について十分な復習を行い、理解を確実にするよう努めること。(毎回2時間)		
キーワード/Keywords	健康, 家庭医学, ヘルスポロモーション, 食生活, メンタルヘルス, 体力		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特に指定しない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 . アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	健康科学と医学の知識を高めるとともに、自身の健康増進や体力増進の実践方法を学んでください。また、グループワークを行いますので、友達を増やす機会になればと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	第1～2回, 5～6回, 13～15回: 田中貴子/理学療法士として長崎市内の病院に勤務した経験をもとに青壮年の健康について教授する。 第3～4回, 11～12回: 古川美和/管理栄養士として長崎市内の施設に勤務している経験をもとに青壮年の食生活について教授する。/ 第7～10回: 富永ちはる/カウンセラーとして長崎大学保健・医療推進センターにての実務経験をもとに青年期のメンタルヘルスについて教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 青年期の健康を考える: 身体機能について学ぶ
第2回	青年期の健康を考える; 家庭医学知識を高める
第3回	青年期の食生活について学ぶ
第4回	青年期の食生活について学ぶ
第5回	高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える
第6回	高齢期における心身の変化から青年期の健康・体力増進を考える
第7回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第8回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第9回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第10回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第11回	青年期の食生活について学ぶ
第12回	青年期の食生活について学ぶ
第13回	青年期の体力・体カトレーニングについて学ぶ
第14回	青年期の体力・体カトレーニングについて学ぶ
第15回	青年期の健康を考える; 現在の問題点を探る・対策を考える

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587002501	科目番号 / Course code	05870025
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11721_005		
授業科目名 / Course title	b10食の科学 / Science for Food Intake		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川下 由美子 / Kawashita Yumiko, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 佛坂 斉社 / Hotokezaka Hitoshi, 五月女 さき子 / Sotome Sakiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川下 由美子 / Kawashita Yumiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川下 由美子 / Kawashita Yumiko, 久松 徳子 / Hisamatsu Noriko, 佛坂 斉社 / Hotokezaka Hitoshi, 五月女 さき子 / Sotome Sakiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	藤原卓 takufuji nagasaki-u.ac.jp 久松徳子 norinori nagasaki-u.ac.jp 佛坂斉社 hotoke nagasaki-u.ac.jp 五月女さき子 sakiko nagasaki-u.ac.jp 川下由美子 yumiko-t nagasaki-u.ac.jp (を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	歯学部 口腔保健学		
担当教員TEL/Tel	メールにて連絡すること。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日17-18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちを含むすべての生物は、食べるという行為によって有機物を体内に取り込み、エネルギーを 産み出し、身体を構成する組織に変換していくことで、生命が誕生したときから命を引き継いでき ました。つまり食べるということは生きていく事そのものなのです。その入り口である「口腔と歯 」は生きる事の入力口ともいえます。 食に関連した人体の構造、機能とその異常を示す疾患につい て、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深めることが出来ればと思います。		
授業到達目標/Course goals	食に関連した人体の構造、機能とその異常、疾患について予防医学的な観点から説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	4人の担当教官の合計が100点のうち60点以上を合格とする。その評価方法は、各回の授業への取り 組みと各教官から課題に対する取り組みから判断される。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の理解と発表のために、講義内容の学修と知識の習得を行うこと。(2h) また、ディスカッ ションには積極的に参加すること。講義内容およびプレゼンテーションにおける指摘事項等について 復習をすること。(2h)		
キーワード/Keywords	口腔、咽頭、摂食嚥下、食事、栄養、健康、肥満、ダイエット、生活習慣病、予防医学		
教科書・教材・参考書/Materials	特になし。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	4名の歯学部教官がオムニバスで担当します。それぞれの視点で食の科学について解説します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ムシ歯はどうしておきるか？ ムシ歯予防のための代用甘味料について（担当教官：藤原卓）
第2回	ムシ歯はどうしておきるか？ ムシ歯予防のための代用甘味料について（担当教官：藤原卓）
第3回	ムシ歯はどうしておきるか？ ムシ歯予防のための代用甘味料について（担当教官：藤原卓）
第4回	食について（担当教官：久松徳子）
第5回	食について（担当教官：久松徳子）
第6回	食について（担当教官：久松徳子）
第7回	食について（担当教官：佛坂斉祉）
第8回	食について（担当教官：佛坂斉祉）
第9回	食について（担当教官：佛坂斉祉）
第10回	食について（担当教官：五月女さき子）
第11回	食について（担当教官：五月女さき子）
第12回	食について（担当教官：五月女さき子）
第13回	砂糖と健康について（担当教官：川下由美子）
第14回	砂糖と健康について（担当教官：川下由美子）
第15回	砂糖と健康について（担当教官：川下由美子）
第16回	予備

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587003701	科目番号 / Course code	05870037
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11751_005		
授業科目名 / Course title	b10審美 / Esthetics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 右藤 友督 / Uto Yuusuke, 佛坂 齊祉 / Hotokezaka Hitoshi, 田上 直美 / Tanoue Naomi, 平 曜輔 / Taira Yousuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	尾立 哲郎 / Odatsu Tetsuro, 江越 貴文 / Egoshi Takafumi, 右藤 友督 / Uto Yuusuke, 田上 直美 / Tanoue Naomi, 平 曜輔 / Taira Yousuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	odatsu_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学病院8階 医歯薬総合研究科口腔インプラント学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-7688		
担当教員オフィスアワー/Office hours	odatsu_nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療について習得する。		
授業到達目標/Course goals	グループワークにおいて、メンバー他者と協力しながら、物事を進展・達成することができる。() また、プレゼンテーションなどにおいて、自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができる。()		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーションやレポートの提出(70%)、授業への取り組み(30%)で評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	プレゼンテーションの準備(2h)、レポートの作成を求めます。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	未定		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	プレゼンテーションやレポートの提出があるため、欠席しないようお願いいたします。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	平 曜輔/長崎大学病院における診療実務経験/大学病院における保存修復治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。/ 右藤 友督/長崎大学病院における診療実務経験/大学病院における冠橋補綴治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。/ 江越 貴文/長崎大学病院における診療実務経験/大学病院における冠橋補綴治療の経験を元に、冠橋義歯学に関する講義、実習を実施する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	審美修復 1 (右藤)
第2回	審美修復 2 (右藤)
第3回	審美修復 3 (右藤)
第4回	審美材料 1 (尾立)
第5回	審美材料 2 (尾立)
第6回	審美材料 3 (尾立)
第7回	審美修復 4 (平)
第8回	審美修復 5 (平)
第9回	審美修復 6 (平)
第10回	審美修復 7 (田上)
第11回	審美修復 8 (田上)
第12回	審美修復 9 (田上)
第13回	美について 1 (江越)
第14回	美について 2 (江越)
第15回	美について 3 (江越)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587002901	科目番号 / Course code	05870029
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11731_005		
授業科目名 / Course title	b11口と疾患 / Oral Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	Engineering・Environmental		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ayoshi nagasaki-u.ac.jp (Yoshimura) (Replace with before sending an e-mail) yanagi nagasaki-u.ac.jp (Yanagiguchi) torisu nagasaki-u.ac.jp (Torisu)		
担当教員研究室/Office	Room for associate and senior assistant professor of Periodontology (Yoshimura) Room for associate and senior assistant professor of Cariology (Yanagiguchi) Room for teachers of Prosthodontics (Torisu)		
担当教員TEL/Tel	095-819-7681(Yoshimura), 819-7693(Torisu), 819-7678(Yanagiguchi)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Monday-Friday 9:00-17:00 E-mail message is preferable.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	You will understand the causes, symptoms, treatment methods and preventive methods of the main disease in mouth such as a temporo-mandibular joint disorder, a chewing disorder, caries, periodontal diseases. Furthermore, using knowledge necessary to maintain the health in the mouth, you will find the methods to keep your mouth healthy.		
授業到達目標/Course goals	You will be able to explain main causes and symptoms of the principle mouth diseases (5, 7, 8)。 You will be able to explain rough treatment methods of the principle mouth diseases (3)。 You will be able to explain rough preventive methods of the principle mouth diseases (10, 11)。 You will be able to think about the methods to increase health in your mouth by yourself (1, 2, 6)。 You will be able to think about the methods to increase health in your mouth by		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Reports (75%), presentation(25%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	You need to carry out prior researches about the contents of the class before every class for discussion (2h). After the class, you need to make a report according to the discussion and researched results (2h).		
キーワード/Keywords	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder, dental caries, periodontal diseases		

教科書・教材・参考書/Materials	You do not have to purchase textbooks. Some reference books will be introduced in the
受講要件(履修条件)/Prerequisites	You need to attend two-third or more of the classes.
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Review the knowledges that you learned in module I.
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	Atsutoshi Yoshimura/Experience as a dentist/ Tetsuro Torisu/Experience as a dentist/ Gajiro Yanagiguchi/Experience as a dentist/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st 4/12(Tue) 3	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (1) Torisu
2nd 4/12(Tue) 4	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (2) Torisu
3rd 4/19(Tue) 3	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (3) Torisu
4th 4/19(Tue) 4	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (4) Torisu
5th 4/26(Tue) 3	Temporomandibular joint disorder, chewing disorder (5) Torisu
6th 4/26(Tue) 4	Causes and symptoms of the caries (1) Yanagiguchi
7th 5/10(Tue) 3	Causes and symptoms of the caries (2) Yanagiguchi
8th 5/10(Tue) 4	Treatment and the prevention of the caries (1) Yanagiguchi
9th 5/17(Tue) 3	Treatment and the prevention of the caries (2) Yanagiguchi
10th 5/17(Tue) 4	Treatment and the prevention of the caries (3) Yanagiguchi
11th 5/24(Tue) 3	Periodontal diseases (1) Yoshimura
12th 5/24(Tue) 4	Periodontal diseases (2) Yoshimura
13th 5/31(Tue) 3	Periodontal diseases (3) Yoshimura
14th 5/31(Tue) 4	Periodontal diseases (4) Yoshimura
15th 6/7(Tue) 3	Periodontal diseases (5) Yoshimura

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587002901	科目番号 / Course code	05870029
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11731_005		
授業科目名 / Course title	b11口と疾患 / Oral Diseases		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥巢 哲朗 / TORISU Tetsurou, 吉村 篤利 / Yoshimura Atutoshi, 柳口 嘉治郎 / Yanagiguti Kajirou		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ayoshi nagasaki-u.ac.jp(吉村) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) yanagi nagasaki-u.ac.jp(柳口) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) torisu nagasaki-u.ac.jp(鳥巢) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	歯周歯内治療学教授室(吉村), 歯科補綴学教員室(鳥巢), 歯周歯内治療学准教授・講師室(柳口)		
担当教員TEL/Tel	819-7681(吉村), 819-7693(鳥巢), 819-7682(柳口)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金曜日 9:00-17:00 Eメールにより質問を受け付けます。上記Eメール・アドレスに連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の中の主な疾患の原因と症状、治療法、予防法について理解する。さらに、口の中の健康を維持するために必要な知識を用いて、口の中の健康を増進するために活かす態度を見につける。		
授業到達目標/Course goals	主な口の疾患の原因と症状について説明できる(5, 7, 8)。 主な口の疾患の治療法について説明できる(3)。 主な口の疾患の予防法について説明できる(10, 11)。 口の中の健康を増進するための方法について、自ら考えることができる(1, 2, 6)。 口の中の健康を増進するための方法について、他者と協働で考えることができる(4, 11, 12)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートなどの提出物(75%)、発表態度(25%)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回各自で授業内容に関してネットや文献で事前調査し、ディスカッションの前準備をすること (2h程度)。授業後は調査した資料とディスカッションの結果をもとにレポートを作成・修正する こと(2h程度)		
キーワード/Keywords	顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は特に使用しない。参考書は、授業を進めて行く中で、適宜紹介する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	開講された講義の3分の2以上に出席している者。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	モジュールIで学習した内容は、復習しておくこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	吉村 篤利/歯科医師としての実務経験を有している。/実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 鳥巢 哲朗/大学病院および関連病院における有床義歯を主体とした歯科補綴治療および技工作業/臨床および技工の経験を生かした実践的な情報・知識の提供/ 柳口 嘉治郎/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯周治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/12(火) 3校時	顎関節障害・咀嚼障害(1)(鳥巢哲朗)
第2回 4/12(火) 4校時	顎関節障害・咀嚼障害(2)(鳥巢哲朗)
第3回 4/19(火) 3校時	顎関節障害・咀嚼障害(3)(鳥巢哲朗)
第4回 4/19(火) 4校時	顎関節障害・咀嚼障害(4)(鳥巢哲朗)
第5回 4/26(火) 3校時	顎関節障害・咀嚼障害(5)(鳥巢哲朗)
第6回 4/26(火) 4校時	齲蝕の原因と症状(1)(柳口嘉治郎)
第7回 5/10(火) 3校時	齲蝕の原因と症状(2)(柳口嘉治郎)
第8回 5/10(火) 4校時	齲蝕の治療と予防(1)(柳口嘉治郎)
第9回 5/17(火) 3校時	齲蝕の治療と予防(2)(柳口嘉治郎)
第10回 5/17(火) 4校時	齲蝕の治療と予防(3)(柳口嘉治郎)
第11回 5/24(火) 3校時	歯周病の症状と治療(1)(吉村篤利)
第12回 5/24(火) 4校時	歯周病の症状と治療(2)(吉村篤利)
第13回 5/31(火) 3校時	歯周病の症状と治療(3)(吉村篤利)
第14回 5/31(火) 4校時	歯周病の症状と治療(4)(吉村篤利)
第15回 6/7(火) 3校時	歯周病の症状と治療(5)(吉村篤利)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587057101	科目番号 / Course code	05870571
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15531_005		
授業科目名 / Course title	b11口腔から始まる健康 / General Health Based on Oral Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 山田 志津香 / Yamada Shizuka, 玉田 泰嗣 / Tamada Yasushi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 山田 志津香 / Yamada Shizuka, 玉田 泰嗣 / Tamada Yasushi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmurata nagasaki-u.ac.jp (Change to @)		
担当教員研究室/Office	Nagasaki University Hospital 8F room839		
担当教員TEL/Tel	095-819-7690		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Murata: Wednesday 17:00 - 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Students study oral function, change by the aging in the alveolar bone collagen and so		
授業到達目標/Course goals	Students can explain importance and methods of maintenance and improvement of oral		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Report, Contribution toward class		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Study method of presentation.		
キーワード/Keywords	Super aging society, Oral function, QOL, Sleep, respiratory function, collagen, Nagasaki		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	Students must attend the classes of more than 2/3 and submit reports.		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Please do not hesitate to ask the questions.		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	<p>村田 比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中/実務経験に基づき、口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療、加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を講義する。/ 鮎瀬 卓郎/長崎大学病院における診療実務経験/臨床経験を活かし歯学教育・研究の臨床に係る基礎知識を教授する。/ 山田 志津香/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯内治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。/</p>
--	---

授業計画詳細 / Course Schedule

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Explanation of theme and method of investigation concerning oral function. Investigation by each group. (Murata)
2	Investigation by each group. (Murata)
3	Investigation by each group. (Murata)
4	Investigation by each group. (Murata)
5	Presentation by each group. Lecture concerning oral function. (Murata)
6	Problem-solving case studies. Grouping. Determination of theme for each group. (Tamada)
7	Investigation by each group. (Tamada)
8	Interim Presentation. Investigation by each group. (Tamada)
9	Investigation by each group. (Tamada)
10	Final Presentation. Commentary. (Tamada)
11	Lecture of Collagen biochemistry and Explanation about group work.(Yamada)
12	Investigation by each group. (Yamada)
13	Investigation by each group. (Yamada)
14	Investigation by each group. (Yamada)
15	Presentation by each group and Lecture of Change by the aging in the hard tissue collagen.(Yamada)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587057101	科目番号 / Course code	05870571
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15531_005		
授業科目名 / Course title	b11口腔から始まる健康 / General Health Based on Oral Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 山田 志津香 / Yamada Shizuka, 玉田 泰嗣 / Tamada Yasushi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村田 比呂司 / MURATA Hiroshi, 山田 志津香 / Yamada Shizuka, 玉田 泰嗣 / Tamada Yasushi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	村田 : hmurata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	病院本館 8 階839室		
担当教員TEL/Tel	(内線: 坂本地区) 村田: 7690; 玉田7717; 山田7678		
担当教員オフィスアワー/Office hours	村田: 水17:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療について学ぶ。また加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を習得する。		
授業到達目標/Course goals	口腔の健康を維持そして増進するための重要性と方策を説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートおよび授業への貢献度により評価します。授業外学習に充てるべき時間: 週平均 2時間位 、【成績評価項目】授業内の課題および授業参加度60%、レポート40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	プレゼンテーションの手法を事前に学習してほしい。		
キーワード/Keywords	超高齢社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・コラーゲン・長崎		
教科書・教材・参考書/Materials	特にないが、興味のある方は「長生きする入れ歯 - 科学的根拠に基づく知識と治療法 (ブルーバックス、早川巖)、およびコラーゲンの話 - 健康と美をまもる高分子 (中公新書、大崎茂芳) を参考にしてください。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全授業の2/3以上の出席、およびレポートを提出しないと成立しません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	疑問点および聞きたいことがあれば、遠慮なく質問してください。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	村田 比呂司/長崎大学病院における歯科補綴診療業務を継続中/実務経験に基づき、口腔機能について解説する。 玉田泰嗣/長崎大学病院における診療実務経験/医療者の手技と医療廃棄物を含めた医療現場の課題をAIで解決する。 山田 志津香/現役歯科医師が病院歯科における実務経験/歯内治療に必要な基本的知識、技術をスライドや動画を用いて解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	口腔機能に関するテーマと調査方法等について説明、各グループで調査(村田)
2	各グループで調査(村田)
3	各グループで調査(村田)
4	各グループで調査(村田)
5	発表会、講義・解説(村田)
6	課題解決事例の紹介、グループ分け、グループごとの課題決定(玉田)
7	各グループで調査(玉田)
8	中間発表、各グループで調査(玉田)
9	各グループで調査(玉田)
10	最終発表、解説(玉田)
11	コラーゲンの基礎(講義)、課題発表と調査方法等についての説明(山田)
12	各グループで調査(山田)
13	各グループで調査(山田)
14	各グループで調査(山田)
15	発表会、コラーゲンの加齢による変化(講義)(山田)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587014101	科目番号 / Course code	05870141
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14201_005		
授業科目名 / Course title	b12生体分子の構造と機能 / Structure and Function of Biological Molecules		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	海野 英昭 / Unno Hideaki, 田中 修司 / Tanaka Shuji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	海野 英昭 / Unno Hideaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	海野 英昭 / Unno Hideaki, 田中 修司 / Tanaka Shuji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	unno nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館生体分子化学実験室2-1		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (できるだけ前もってメールで問い合わせること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生命を理解するためには生物を構成する様々な生体分子の構造とそれらの間の相互作用を理解する必要がある。この講義では、生命活動の基本となる生体分子の構造と機能を理解するとともに、それらの相互作用がどのように生命活動に重要な役割を果たしているかについて学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	生体の主要成分 (タンパク質, 核酸, 糖, 脂質) の特性および機能を理解し, 説明ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーションの内容、および授業における積極的取り組み状況等を考慮して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストの該当部分を事前・事後に読むこと。プレゼンテーション資料の作成。4h		
キーワード/Keywords	タンパク質, 遺伝子, バイオテクノロジー		
教科書・教材・参考書/Materials	「はじめて学ぶ 生命科学の基礎」 畠山智充・小田達也 (編著) 化学同人		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	海野/臨床検査会社における実務経験/生命科学の講義において、その基礎から臨床検査等への応用技術の発展まで解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	生命科学の基礎
第2回	生体を構成している物質 (アミノ酸とタンパク質)
第3回	生体を構成している物質 (糖質・脂質)
第4回	生体を構成している物質 (核酸)
第5回	タンパク質の構造と機能 (タンパク質の構造)
第6回	タンパク質の構造と機能 (タンパク質の機能)
第7回	細胞内のエネルギー代謝
第8回	遺伝情報の流れ (DNAの複製)
第9回	遺伝情報の流れ (転写と翻訳)
第10回	細胞の増殖 (細胞周期)
第11回	細胞の増殖 (発生・分化)
第12回	細胞の様々な機能 (細胞情報伝達)
第13回	細胞の様々な機能 (生体防御と免疫)
第14回	生物の進化と多様性
第15回	全授業の総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587063501	科目番号 / Course code	05870635
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15671_005		
授業科目名 / Course title	b12構造物の世界 / The World of Structures		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中原 浩之 / Nakahara Hiroyuki, 永井 弘人 / Nagai Hiroto, 海野 英昭 / Unno Hideaki, 佐々木 謙二 / Sasaki Kenji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中原 浩之 / Nakahara Hiroyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中原 浩之 / Nakahara Hiroyuki, 永井 弘人 / Nagai Hiroto, 佐々木 謙二 / Sasaki Kenji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakaharahiroyuki nagasaki-u.ac.jp, ksasaki nagasaki-u.ac.jp, nagai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館6階 601(中原)、503(佐々木)、604(永井)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2895(中原)、095-819-2592(佐々木)、095-819-2589(永井)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的には講義終了後講義室, またはmailで受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	身の回りには様々な構造物や製品がある。建物、橋、機械、航空機、船など、すべて構造物と捉え ることができる。それらがどのようにして成り立っているかを学ぶ。また、日頃何気なく使用して いるものの原理や自然現象の科学を理解する。		
授業到達目標/Course goals	自らの意見を正確に表現できるようになる。 異なる意見を聞くことができるようになる。 構造物として成立するための原理が説明できるようになる。 この講義によって、構造物や身の回りの物、自然現象などに共通の原理について考察ができること を到達目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提示されたテーマに対するレポートの結果によって100%評価する。定期試験は実施しない。未提 出のレポートや作品がある場合は、不合格とする。 レポートでは、自分自身の多面的な考察, 意見, 感想を主に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	指示された内容を調べる時がある。		
キーワード/Keywords	構造物、建物、橋、航空機		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。必要に応じて、資料を配布するとともに、参考文献等を講義中に紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席を原則とする。なお、高等学校までの物理学の受講の有無は問わない。 受講学生数は、最大50名程度とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	担当教員はいずれも工学部構造工学コースの教員であり、構造工学コースのホームページを参照すると授業の理解が進むと思われる。
学生へのメッセージ/Message for students	テーマの順序が入れ替わることがある。 授業への積極的な参加を求める。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	建築物の歴史(東洋編)
第2回	建築物の構造の特徴(東洋編)
第3回	建築物の歴史(西洋編)
第4回	建築物の構造の特徴(西洋編)
第5回	建築構造の耐震設計
第6回	橋梁の種類・特徴
第7回	橋梁の設計・施工技術
第8回	コンクリートの種類・特徴
第9回	コンクリート構造物のメンテナンス技術
第10回	インフラ構造物におけるDX,カーボンニュートラル
第11回	航空機の種類と歴史
第12回	航空機はなぜ飛ぶか
第13回	航空機の推進方法
第14回	航空機の安定性
第15回	航空機の構造と設計

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587016501	科目番号 / Course code	05870165
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12981_005		
授業科目名 / Course title	b13廃棄物と土壌・地下水汚染 / Waste Management and Groundwater		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi, 西山 雅也 / Nishiyama Masaya, 中川 啓 / Nakagawa Kei, 利部 慎 / Kagabu Makoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	朝倉 宏 / Asakura Hiroshi, 西山 雅也 / Nishiyama Masaya, 中川 啓 / Nakagawa Kei, 利部 慎 / Kagabu Makoto		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	asakura nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	廃棄物資源工学研究室(環境科学部3階、環350)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2760		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時、事前に連絡をとること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	水資源としての地下水利用、土壌・地下水汚染の現状、汚染の挙動解析法や対策技術などについて学ぶ。また、廃棄物の処理とリサイクルに関する基本的な法制度・計画と、各種処理技術を学び、問題点と理想像、そのギャップを埋める手法・計画などを考える。		
授業到達目標/Course goals	<p>廃棄物問題、土壌・地下水汚染についての基本的事項を理解できるようになる。()</p> <p>水資源としての地下水利用について説明することができるようになる。()</p> <p>汚染の挙動解析法や対策技術について理解できるようになる。()</p> <p>廃棄物の処理とリサイクルに関する基本的な法制度・計画と、各種処理技術を理解できるようになる。()</p> <p>廃棄物処理の問題点と理想像、そのギャップを埋める手法・計画などを考えることができるようになる。()</p> <p>廃棄物処理の問題について、自主的に課題解決に取り組み、また、他と協働して解決につながる活動を模索できるようになる。()</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	「廃棄物問題」「地下水汚染」「土壌汚染」の3つのカテゴリーに分けて講義するので、それらのレポート(予習復習課題およびレポート課題=85点)および講義への参加状況(講義中の課題および授業への取り組み=15点)=合計100点を採点し、それらの平均とする。60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前に提示される資料や関連書籍に目を通しておくこと。(2h) 授業後は指示されたレポートにとりくみ、また、提示された資料や関連書籍に目を通すこと。(2h)		
キーワード/Keywords	水資源、廃棄物、土壌、地下水汚染、土壌汚染、対策技術		
教科書・教材・参考書/Materials	必要な資料は、LACSや印刷物で配布します。 特に定めないが、廃棄物、地下水学、土壌学に関するテキストに目を通すことをお勧めします。 例えば、地下水に関しては、藤縄克之著「環境地下水学」共立出版など。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	特になし
学生へのメッセージ/Message for students	講義内容と関連する書籍やテキストに目を通すこと
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	朝倉 宏/建設コンサルタントにおける一般廃棄物処理基本計画作成/建設コンサルタントにおける実務経験を持つ教員が、各自治体で策定する一般廃棄物処理基本計画の策定の意義・方針・手法を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	「廃棄物と土壌・地下水汚染」とは(中川 啓 教員)
2	世界と日本の水資源と地下水の利用、地下水汚染(中川 啓 教員)
3	地下水水質の評価について(1)-利き水による官能試験実習(中川 啓 教員)
4	地下水水質の評価について(2)-簡易な水質測定とダイアグラムの描画実習(中川 啓 教員)
5	ごみの削減目標と施策：1．ごみの定義と削減に関する講義(朝倉 宏 教員) ごみの削減目標と施策：2．長崎市のごみと削減に関する講義(朝倉 宏 教員)
6	ごみ削減施策の作成作業時間(朝倉 宏 教員)
7	地下水とは-「量」の特徴(利部 慎 教員)
8	地下水とは-「水質」の特徴(利部 慎 教員)
9	ごみの削減目標と施策：3．課題の相互チェックに関する講義(朝倉 宏 教員)
10	修正意見の作成作業時間(朝倉 宏 教員)
11	土壌汚染の特徴(西山 雅也 教員)
12	土壌生成過程と土壌の性質(1)(西山 雅也 教員)
13	土壌生成過程と土壌の性質(2)(西山 雅也 教員)
14	土壌の性質と土壌汚染(西山 雅也 教員)
15	まとめと講評(担当教員全員)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587052901	科目番号 / Course code	05870529
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15411_005		
授業科目名 / Course title	b13有害化学物質の管理と処理 / Management and Handling of Harmful Chemicals		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide, 朝倉 宏 / Asakura Hiroshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	久保 隆 / Kubo Takashi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	久保 隆 / Kubo Takashi, 真木 俊英 / Maki Toshihide		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・工		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubo-t nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 環335		
担当教員TEL/Tel	095-819-2756		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前連絡があれば随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	有害化学物質のマネジメントについて理解するとともに、長崎大学における廃液処理の実際を学び、環境保全に関連してとるべき行動について理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	有害化学物質による汚染事例等について自ら学び()、議論や発表を通じて理解を深める()。また、有害化学物質の管理制度について学ぶとともに()、本学における廃液処理管理等に関して学生相互に意見を出し合い、課題を発見・解析できるようになる()。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義への積極的取り組み30%, 試験20%, レポート50%で評価し, 60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	グループ内で分担した公害に関する調査を進める。また、講義で扱うテーマを提示するので、それについてネットなどを使って調べる。(2h) 講義資料を復習し、理解を深める。(2h)		
キーワード/Keywords	実験廃液処理、公害、課題解決、リスク、化学物質管理制度		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。教材はPDFファイル等で提供する。 参考書:「基礎化学実験安全オリエンテーション」東京化学同人		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	予習と復習を前提とする。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	定期的にニュースをチェックすることや、幅広い内容について読書することも、この講義の理解を深めるために有用です。前向きな取り組みを期待します！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス： 科目の概要、狙い、位置づけ、到達目標、授業の方法、各単元の到達目標、評価方法を理解する。 課題探求と課題解決の方法について理解する。
第2回	実験時の安全： 実験に用いる薬品や器具等の基本的な取扱方法、具体的な安全対策について理解する。
第3回	安全・安心とリスク(その1)： 安全・安心の考え方、およびエラーとその対策概念の基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
第4回	安全・安心とリスク(その2)： 化学物質の取り扱いに関するリスクアセスメントの基本について理解し、身近な安全行動を実践できる。
第5回	毒性試験と毒性値： 毒性試験や毒性値の種類を学び、それらの意味を理解する。 GHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)やラベル表示の概要を理解する。
第6回	基準値等の設定： 化学物質の毒性に基づいた基準値や指針値設定の考え方を理解する。
第7回	特定化学物質の取り扱い： 特化則(特定化学物質障害予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第8回	有機溶剤の取り扱い： 有機則(有機溶剤中毒予防規則)の主旨を理解し、簡潔にまとめる。
第9回	廃液処理システム： 本学の有機系及び無機系実験廃液処理施設の概要を学ぶ。また、本学の実験廃液管理システムについて理解する。
第10回	重金属廃液の処理効果の確認と施設見学： 簡単な実験を通して、廃液の分別の重要性を理解する。また、実施施設の見学を通して、廃液処理を体験的に理解する。(受講人数や感染症の蔓延状況によっては実施できない場合がある。)
第11回	廃液に関する課題解決(その1)： 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第12回	廃液に関する課題解決(その2)： 本学の廃液回収量データを解析して課題を抽出するとともに、解決策を考える。
第13回	公害に関する課題解決(その1)： 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第14回	公害に関する課題解決(その2)： 公害に関する調査結果に基づいて、現在の我々にとっての課題を抽出し、解決策を考える。
第15回	テスト・レポート： テストによる知識の定着の確認を行う。また、公害について世界に発信すべき教訓を考え、まとめる。
第16回	総括： 講義の評価を行い、改善点等について議論する。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587017301	科目番号 / Course code	05870173
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13001_005		
授業科目名 / Course title	b14海洋環境と化学物質 / Bioactive Compounds from Marine Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 高谷 智裕 / Takatani Tomohiro, 荒川 修 / Osamu Arakawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	石橋 郁人 / Ishibashi Fumito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 高谷 智裕 / Takatani Tomohiro, 荒川 修 / Osamu Arakawa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fumito nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産学部新館1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2833		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後が望ましい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋の生物には、薬理活性物質や魚介類の毒(マリントキシン)など、僅かな量で生物の生理や行動に対して特有な作用を及ぼす物質(生理活性物質)を持っているものがある。本講義では、微量成分の量や組成を分析する方法や分離した有機化合物の化学構造を解析する方法の原理など、分析化学の基礎を習得すると共に、海洋の生物が生産する有機化合物の構造、種類、生理作用等について学ぶ。さらに、長崎県とその近傍における魚介毒に関する問題点や地域の特産品についての話題を提供する。		
授業到達目標/Course goals	有機化合物の分離・分析方法や構造解析法の基礎原理について説明できるようになること。 海洋の生理活性物質の種類、構造、生理作用等について説明できるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト・レポート等(60%), 授業への参加度(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 海洋の生理活性物質に関するトピックスを、新書等の書籍、ビデオ、新聞記事などを用 い調べておく。(2h) 事後学習: 講義内容の復習を行っておくこと(2h)		
キーワード/Keywords	分析化学, 物質の単離と精製, 機器分析, 海洋天然物, マリントキシン, 生理活性物質		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書 「物質の単離と精製」、大岳望他、東京大学出版会 「海洋生物のケミカルシグナル」、伏谷伸宏他、講談社サイエンティフィック 「基礎分析化学」 「有機化合物のスペクトル解析入門」、L.M.ハーウッド他、化学同人		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特に受講要件は設定しないが、高等学校の「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」程度 の化学及び生物に関する基礎知識を習得していることが好ましい。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考（URL）/Remarks（URL）	受講者数多数の場合は、グループワークとプレゼンテーションは調べ学習とレポートに変更することがある	
学生へのメッセージ/Message for students	フグの毒などの海の生物が作る生理活性物質に興味がある方の受講を勧めます	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1	海洋の生理活性物質に関するトピックス、レポート作成	A
2	海洋の生理活性物質：一次代謝産物、分子模型演習	C
3	海洋の生理活性物質：二次代謝産物	F
4	海洋の生理活性物質に関するグループワーク：資料作成	B
5	海洋の生理活性物質に関するグループワーク：プレゼンテーションと質疑応答	B
6	海洋の自然毒に関するトピックス（DVD鑑賞、講義）、レポート作成	A
7	化学物質の分離・分析：HPLC、ELISAなど（DVD鑑賞、講義）	F
8	化学物質の分離・分析：TLCによる茶葉色素の分析（演習）、レポート作成	A B C
9	化学物質の構造解析：MS、NMR（DVD鑑賞、講義）	F
10	化学物質の構造解析：簡単なNMRスペクトル解析（演習）	A B C
11	有毒・有害微細藻類に関する話題（講義）	F
12	有毒・有害微細藻類に関する話題（意見交換およびレポート作成）	A B
13	海洋毒に関する演習 1	A B C
14	海洋毒に関する演習 2	A B C
15	海洋環境と化学物質に関するレポートの作成	A B

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587019301	科目番号 / Course code	05870193
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12951_005		
授業科目名 / Course title	b14海洋生物の遺伝子多様性 / Genetic Diversity of Marine Organisms		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	和田 実 / Wada Minoru, 石橋 郁人 / Ishibashi Fumito, 山口 健一 / Yamaguchi Kenichi, 井上 徹志 / Tetsushi Inoue, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	和田 実 / Wada Minoru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	和田 実 / Wada Minoru, 山口 健一 / Yamaguchi Kenichi, 井上 徹志 / Tetsushi Inoue, 小山 喬 / KOYAMA Takashi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医(医学科・保健学科)・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miwada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2825		
担当教員オフィスアワー/Office hours	来訪する際は事前にメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	分子生物学的な観点から海洋生物の多様性を考えるリテラシーを醸成する。そのためにアクティブラーニングを活用し、自ら進んで課題に取り組む姿勢を尊重する		
授業到達目標/Course goals	分子生物学的な観点から海洋生物の多様性について説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下の項目を総合的に評価する。1. 毎回の講義内容に関する自主学習の要約レポート作成・提出, 2. 授業の総括レポート提出。 配点は以下を予定。 1. 毎回レポート提出: 12回分 x10点満点 = 120点 2. 総括レポート提出: 1回 100点満点 これらの合計(220点満点)を2.2で割り、1人あたりの得点(100点満点)により評価する予定。 変更がある場合は、連絡します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 遺伝子および機能性高分子(糖、脂質、タンパク質)に関して、参考図書や関連資料を読んでおくこと(2h) 事後学習: 学習した内容について授業後に必ずLACSの課題レポートとして提出すること(2h)		
キーワード/Keywords	海洋生物、遺伝子、生物多様性、微生物、共生、機能性物質、遺伝子解析手法		
教科書・教材・参考書/Materials	指定の教科書はないが、以下の参考書の通読を推奨する。 ・「はじめて学ぶ生命科学の基礎」畠山 智充、小田達也 編著、化学同人、ISBN 978-4-7598-1454-5、定価; 2,300円+税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	本授業では「海洋生物の遺伝子多様性」について「自主的に学ぶための指針」を提供することを心がけています。 具体的には、海洋生物の遺伝子多様性に関わる課題について、「自ら調べた学習内容の発表」と「仲間の発表に対する評価」という2つを実践します。 従来の座学中心ではないため、与えられた課題について事前に予習しておくことがとても大切になります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	和田 実/共同利用研究所の研究船および附属練習船で教員として野外調査の経験を持つ/実務経験を活かして、海洋観測調査の経験や技法を授業で写真や動画を交えて紹介し、海洋生物の多様性を考えるリテラシーを醸成する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	全体説明	A B
第2回	海洋微生物の遺伝子多様性 1	A B
第3回	海洋微生物の遺伝子多様性 2	A B
第4回	海洋微生物の遺伝子多様性 3	A B
第5回	共生の多様性 1	A B
第6回	共生の多様性 2	A B
第7回	共生の多様性 3	A B
第8回	機能性物質の多様性 1	A B
第9回	機能性物質の多様性 2	A B
第10回	機能性物質の多様性 3	A B
第11回	生物多様性の解析 1	A B
第12回	生物多様性の解析 2	A B
第13回	生物多様性の解析 3	A B
第14回	総括 (前半)	A B
第15回	総括 (後半)	A B

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587020501	科目番号 / Course code	05870205
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14731_005		
授業科目名 / Course title	b15海洋の生物と科学 / Marine Fishes and Applied Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi, 萩原 篤志 / Atsushi Hagiwara		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 征矢野 清 / Soyano Kiyoshi, 萩原 篤志 / Atsushi Hagiwara		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	阪倉(授業担当者の代表) sakakura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	水産増殖学研究室(総合教育研究棟4階)		
担当教員TEL/Tel	阪倉(2823)、征矢野(850-7701)、萩原(2830)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	海洋生物資源の生産・培養に関する原理や方法などについて、現代社会における実課題例を交えながら学ぶ。ここで挙げる実課題とは、世界的な課題のみならず、我が国有数の養殖県である長崎県の事例も取り上げる。このように、海洋と海洋生物の科学について基礎から応用まで多面的に学習することにより、幅広い教養と共に、環境と調和した持続可能な社会を実現するためには何をすべきかを考える能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	海の生物と人との関わりを理解する。養殖に関するグローバルな動向と長崎県の位置付けも併せて理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート, 期末試験(70%) 授業への参加状況(30%) 合計で60%以上を取れた者に単位を与える。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義内容を効率良く理解するため、そして講義中になされる教員の質問に解答することができるためにも、その回に取り上げられるトピックを予習しておくことが推奨される(2h程度)。この講義で扱う分野は多岐にわたるとともに、相互に関連している。各試験の直前に復習したのでは、正確な理解を身につけることは難しいため、毎回復習すること(2h程度)。		
キーワード/Keywords	多様性・プランクトン・魚類・繁殖・生態・養殖・長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	講義資料を適宜配布する。 また、それらの一部はLACS上で公開する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	身近のニュースなどで漁業や農業関係のものにも目を向けてみましょう。 生命現象の基礎科学が応用（養殖）にどのように結びつくのかという視点を持って欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス 本講義の概要 世界、日本および長崎県の養殖業について
第2回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第3回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第4回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第5回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第6回	魚類の生殖生理研究とその養殖業への応用
第7回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第8回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第9回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第10回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第11回	餌料プランクトン研究とその養殖業への応用
第12回	魚類種苗生産の現状
第13回	魚類種苗生産の現状
第14回	魚類種苗生産の現状
第15回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587054301	科目番号 / Course code	05870543
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15441_005		
授業科目名 / Course title	b15環境関連法とアセスメント / Environmental Assessment and Related Domestic Laws		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	近藤 能子 / Yoshiko Kondo, 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 阪倉 良孝 / Sakakura Yoshitaka, 久保 隆 / Kubo Takashi, 竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	近藤 能子 / Yoshiko Kondo, 竹下 哲史 / Takeshita Satoshi, 久保 隆 / Kubo Takashi, 竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・保・歯・情・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	近藤 (yoshikondo nagasaki-u.ac.jp) * 科目担当教員 竹内 (stakeuchi nagasaki-u.ac.jp) 竹下 (juniper nagasaki-u.ac.jp) 久保 (kubo-t nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	科目担当教員 (水産学部本館3階A86)		
担当教員TEL/Tel	科目担当教員 (095-819-2840)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	科目担当教員 (研究室にて随時 (平日10時-17時))		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境問題に関する考え方、国際環境法や国内の環境基本法の理念について学び、現在の海洋環境問 題を捉えていく。水質汚濁や護岸工事等の公共事業から自然環境を保全・修復していくことを目的 とした環境アセスメントの手法やその評価について、また、海洋生態系の劣化を抑制していく技術 革新について考えていきます。		
授業到達目標/Course goals	海洋などの水圏環境で起きている環境問題について列挙し、その問題の本質や、利害関係、矛盾点 、解決への施策について、知識を元に議論することができ、また、第3者にわかりやすく説明するこ とが出来るようにします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に取り組む姿勢 (出席状況に加え、ディベート等での点数、小テスト等への回答) で60%、授業 で課されるレポート (アンケート等を含む) で40%の点数をつけます。60%以上で合格とし、期末試 験はありません。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で取り扱ったテーマ、理論、用語について復習すること(2-4h)。		
キーワード/Keywords	海洋環境、環境関連法、アセスメント		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則ですが、やむを得ず欠席する場合は、理由と共に教員に事前連絡をするようにして ください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	(近藤) オリエンテーション。授業への参加者の人数にも依りますが、参加する学生のバックグラウンドを共有して、今後の授業作りに役立てていきます。海洋における土木工事や発電所建設等に伴う海洋環境アセスメントの実態、アセスメント会社の仕事内容、水産学部における海洋調査の内容、民間業者等による海洋環境の復元事業などについて、紹介していきます。
第2回	予備日
第3回	(近藤) 有明海の諫早干拓堤防の開門問題について、生物・化学的な調査、司法判断等の多方面からのレクチャを行います。
第4回	(近藤) 有明海の諫早干拓堤防の開門問題についてのレクチャの続きに加え、その是非や、今後のあるべき展開についてレポートしてもらいます。
第5回	(近藤) 福島第一原発事故の海洋化学・水産科学的側面についてのレクチャを行います。
第6回	(近藤) 福島第一原発事故の海洋化学・水産科学的側面についてのレクチャの続きとこれからの海洋環境・生態系保全についてレポートをしてもらいます。
第7回	(竹内) 海底生態系と環境影響評価(その1) : 主に海底生態系保全における環境影響評価の重要性を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第8回	(竹内) 海底生態系と環境影響評価(その2) : 海底鉱物資源開発が深海底生態系へ及ぼす影響と、その対策に向けた近年の研究動向を理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第9回	(竹内) 海底生態系と環境影響評価(その3) : 環境影響評価が海底生態系の保全にどのように役立てられているのかを理解し、簡潔にまとめてもらいます。
第10回	(久保) 国際環境法の歴史と特質, 人間環境宣言 環境に対する基本的な考え方(環境倫理等), 二国間の紛争解決のための条約から国際共同体全体の利益を管理する取組へと移行した歴史と現代の国際環境法の特質, 更にその移行の転機となった「人間環境宣言」の主旨を理解し, 簡潔にまとめてもらいます。
第11回	(竹下) ソフト・ロー的文書 法的拘束力のない文書の役割とそれらの文書の中から, 世界自然憲章, 森林原則声明, 環境と開発に関するリオ宣言及びアジェンダ21の主旨を理解し, 簡潔にまとめてもらいます。
第12回	(久保) 第二世代の国際環境法(その1) 第二世代の代表的な国際環境法のうち, 生物多様性条約及び気候変動枠組条約の主旨を理解し, 簡潔にまとめてもらいます。
第13回	(竹下) 第二世代の国際環境法(その2) 第二世代の代表的な国際環境法のうち, パーゼル条約の主旨を理解し, 簡潔にまとめてもらいます。
第14回	(久保) 日本の環境と環境政策 日本における環境問題とそれらへの対策の考え方や歴史, さらに国際環境法との関係等を理解し, 簡潔にまとめてもらいます。
第15回	(竹下) 環境基本法 日本における環境に関する基本的法律である環境基本法の概要, 目的, 基本理念及び各主体の責務を中心に理解し, 簡潔にまとめてもらいます。
第16回	(竹下) 環境基本計画 日本における環境政策の基本となる環境基本計画の概要を中心に理解し, 簡潔にまとめてもらいます。